

触覚的自我作品解説

MAU 2025/11/7

「眼・光」「手」「触覚」「構造」「自我の消失点」
5つのテーマの中に、それぞれの作品を埋め込みました

眼・光

他人の目

見えない世界の光

見えない世界の目

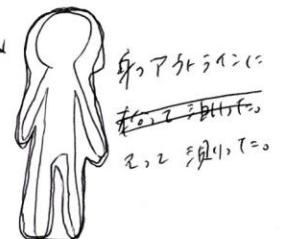
目が笑う

他人の目



黒が好い。
目が合ってない。
今日は自分が全く見てない。
自分が合っていないのが普通だ。よくない。
自分が悪いのかおかしい。
骨も手も口も全く見えてない。目だけは見えない。
自分がいい。自分が悪い。(自分が無い)

この魚は和歌川が見立てた。見立てながら生き生きとした気が仍有
る。目(=氣)が、氣にせき、自由に動く。生きる人間の思ひも

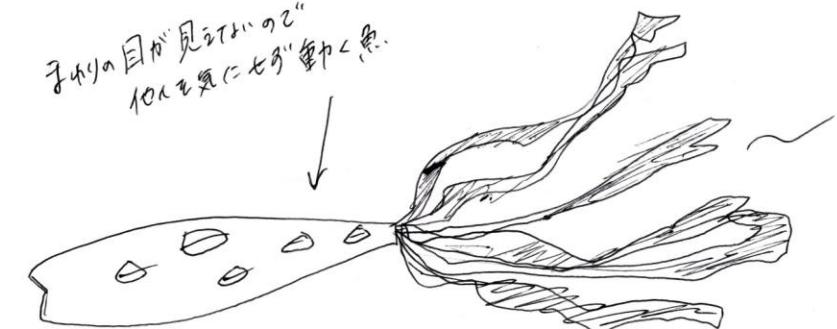


里。尾長 9.4mm 身長 21.8%

手取川長が(=)この長い尾ヒレを付けて
一魚の魚は

重音でやさしくお読み下さい

子供の目が見計りの2
大人気(セガ)静か



魚が好き。

目が合わなくて安心するから。

今日私は自分が全く見えなかった。

目が合わないどころか姿も見えず、より安心した。

目のない魚をつくろうと思った。

骨も丸みえ、ウロコもくりぬかれてるのに 目だけ無い。

目かくしを外し、作品を見てみた。目が合わない。(目が無いので)。

この魚は私のことが見えない。見えないから生き生きしている気がする。

まわりの目に気づかず、気にせず、自由に動きまわっているんだと思う。

黒い尾ヒレは、私の身長の2倍の長さにした。

まあまあ長かった。この長い尾としを持ちつつ
軽やかに泳ぐこの魚は私のあこがれでもある。



25023061 平出 さら

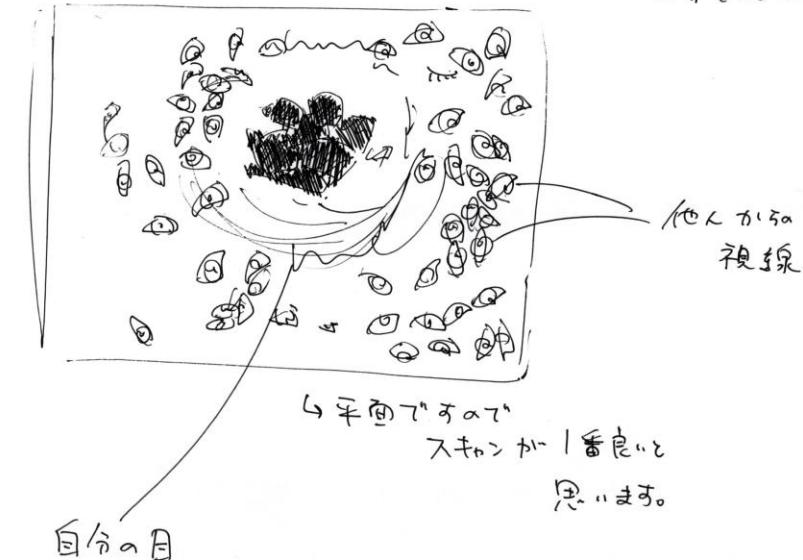


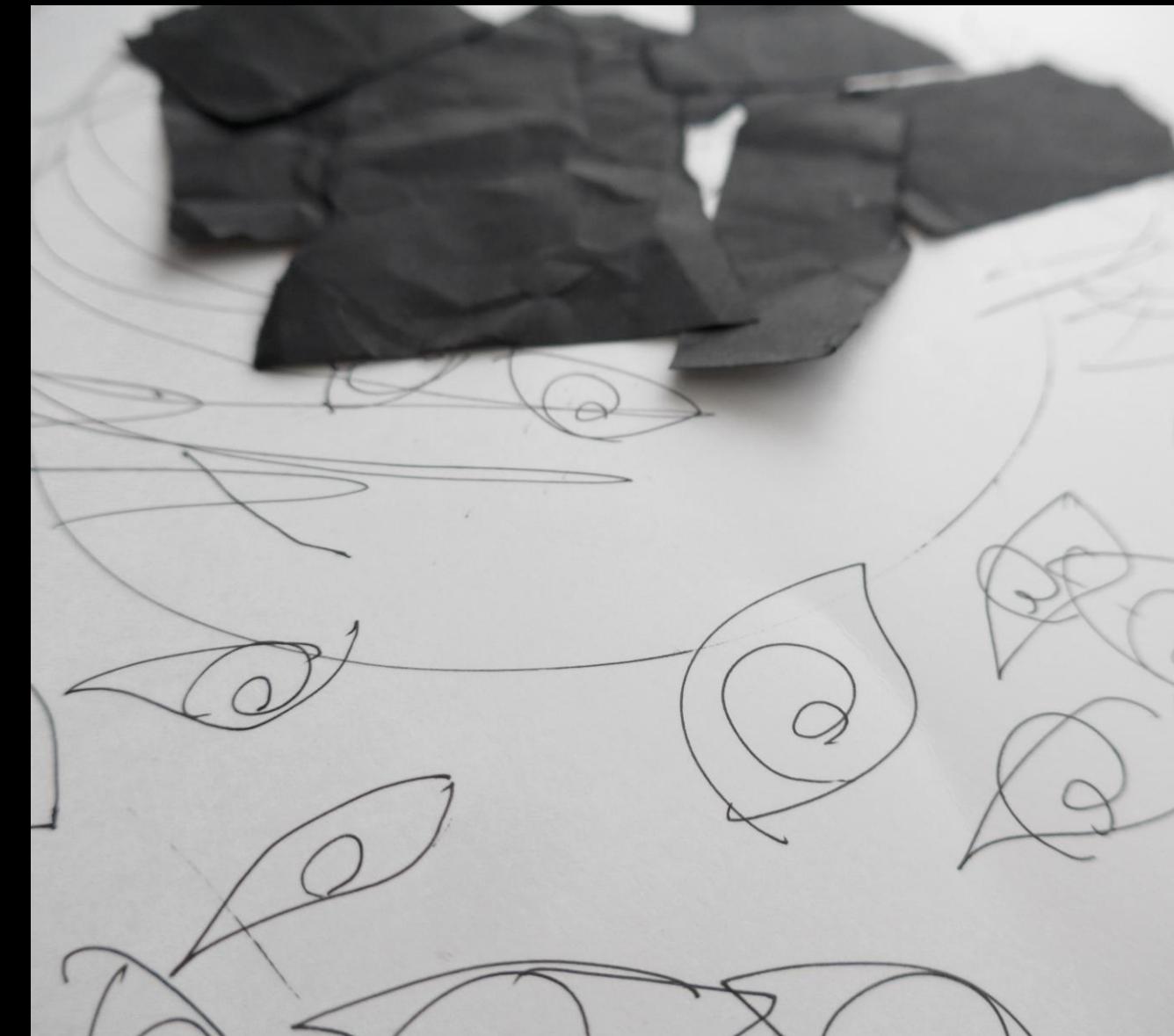
038

作品 解せ

25023061 平出さら

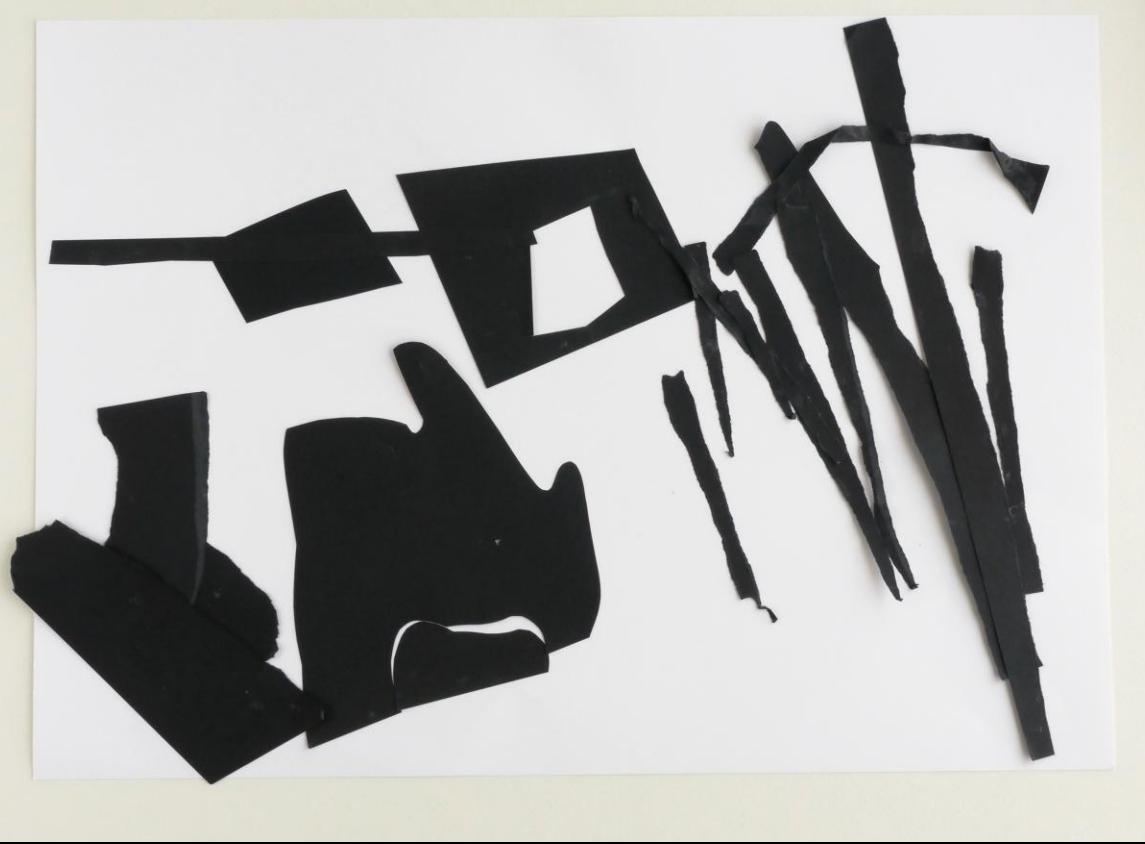
- 私は「目」が好きで、一種の自慢者と思っています。そして自分の目に注目してたら、他の人の「目」にも注目が向きました。自身の目と他人からの視線。最近は他人からの視線に悩むことが多く、言葉を運ぶときに、とても不安で、みんなに見られると思って、いつもこのことを表現しました。





他人の目 うざい

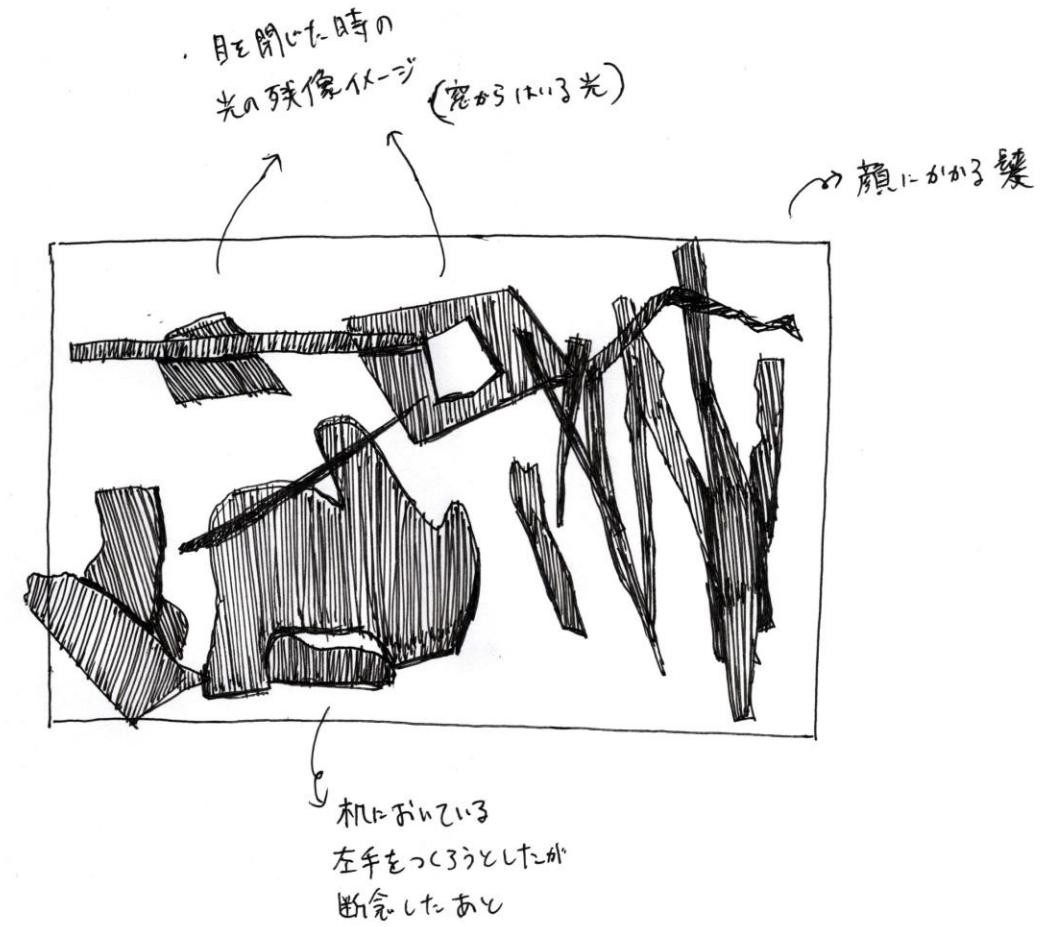
見えない世界の光



017

目を閉じた時の光の残像イメージ
窓から入る光

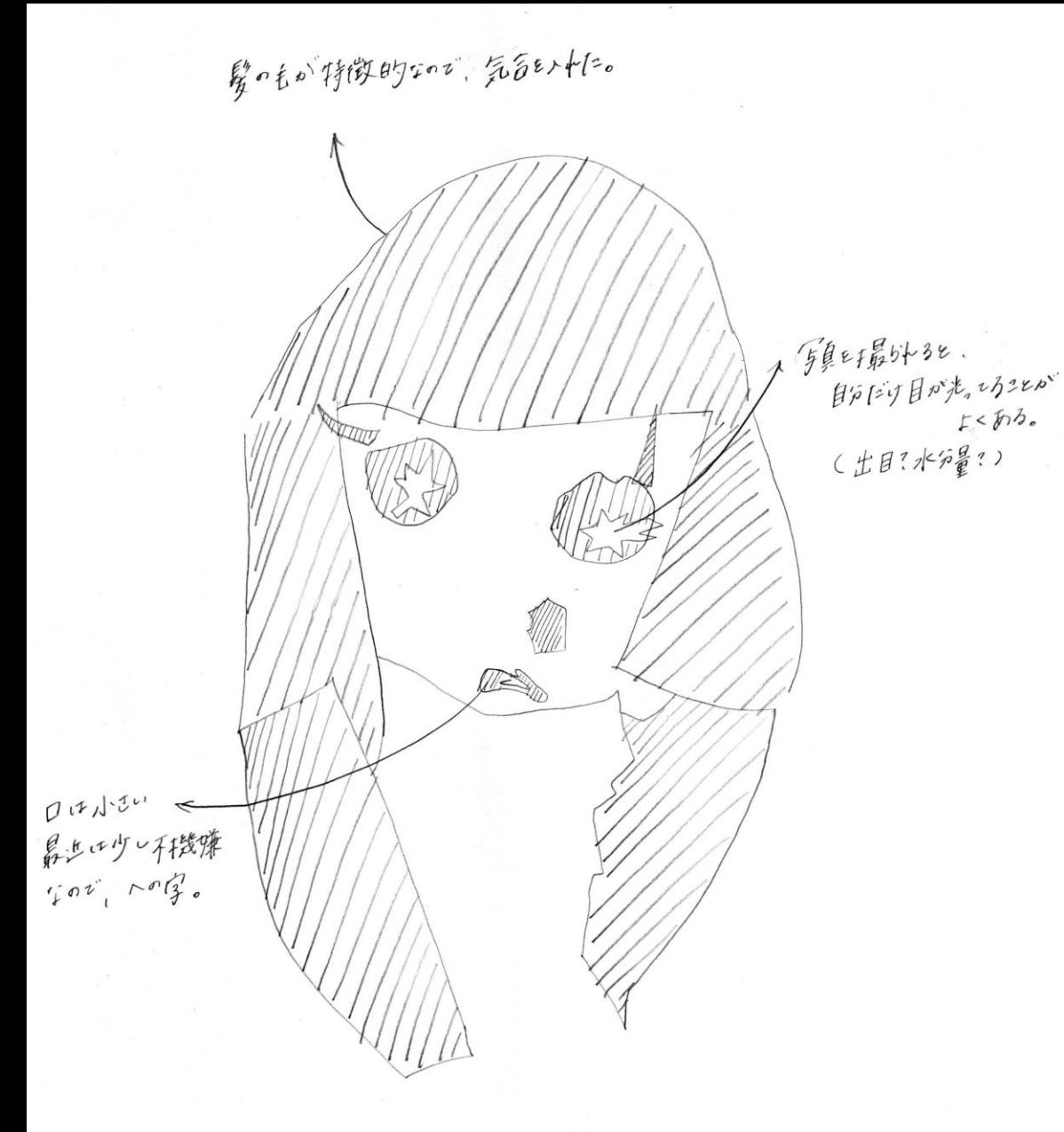
これを作っている時の視界や触覚などと平面にぶら下ろしました。





047

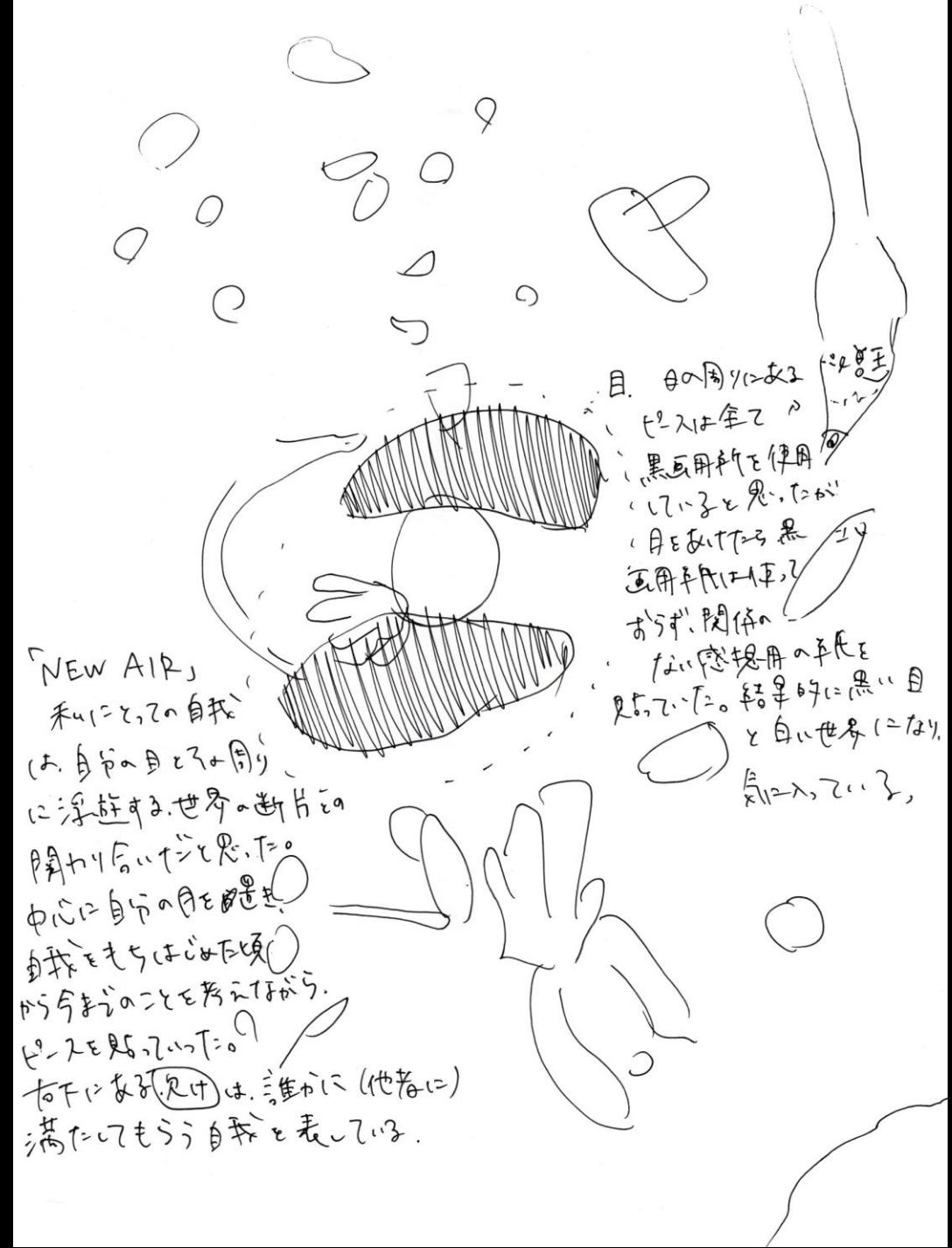
目の光

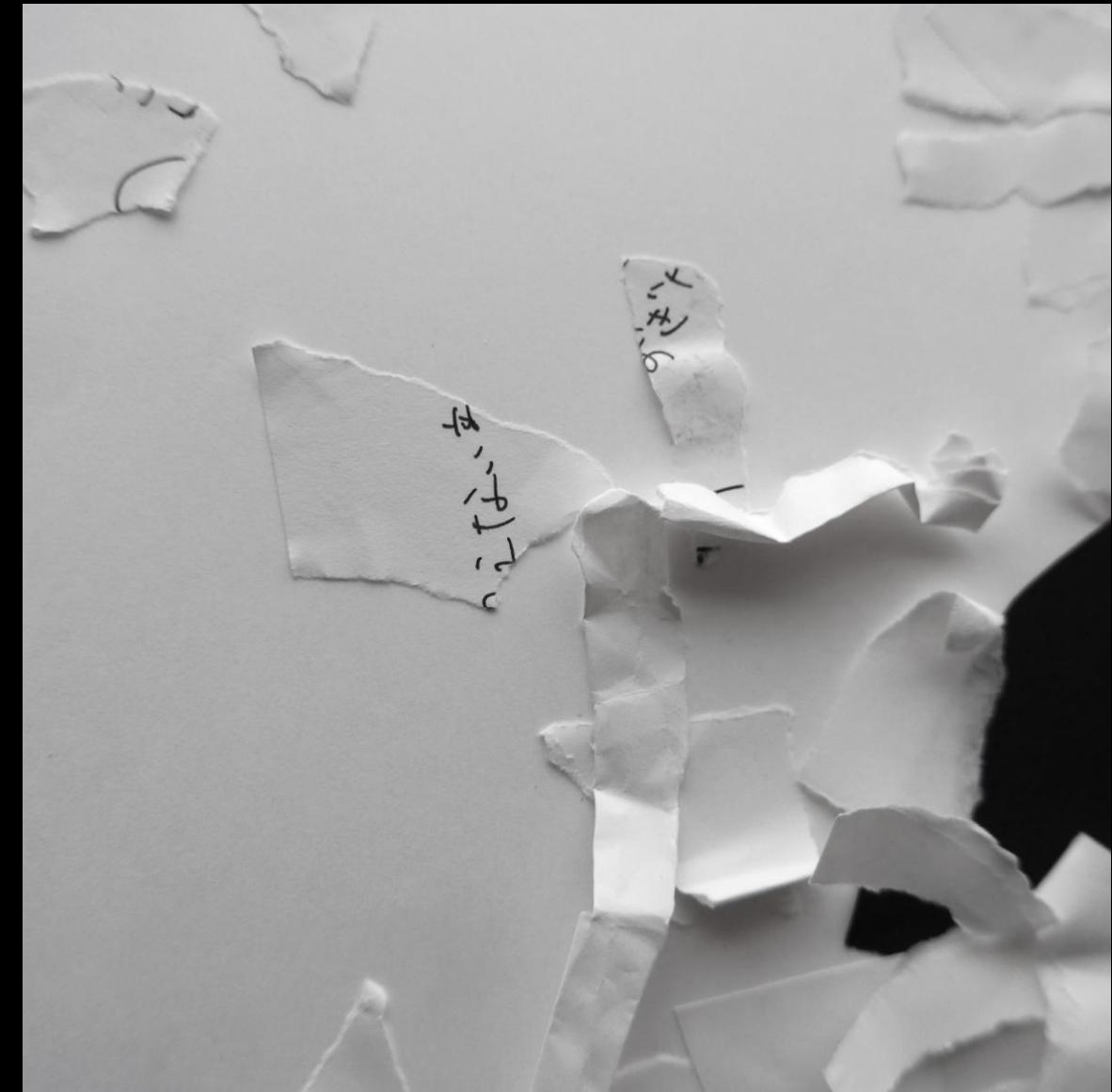


見えない世界の目

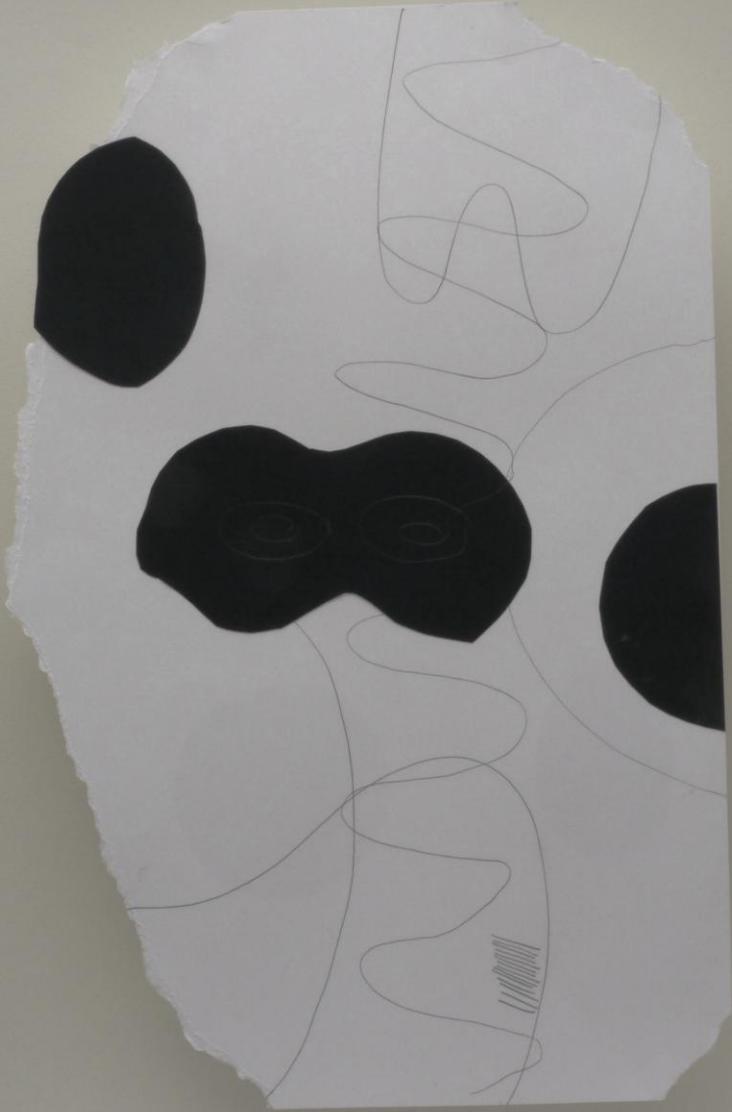


024





目とその周りを浮遊する世界の断片



041



目とひとたまに見えてる感じ、これが軸、下の方にしゃがむ感じ。



自分の心 ← これが固い (← この線(み他の世界と
つながり違うとしている))



ぼんのう



心藏の音



ピアノ



(左下)

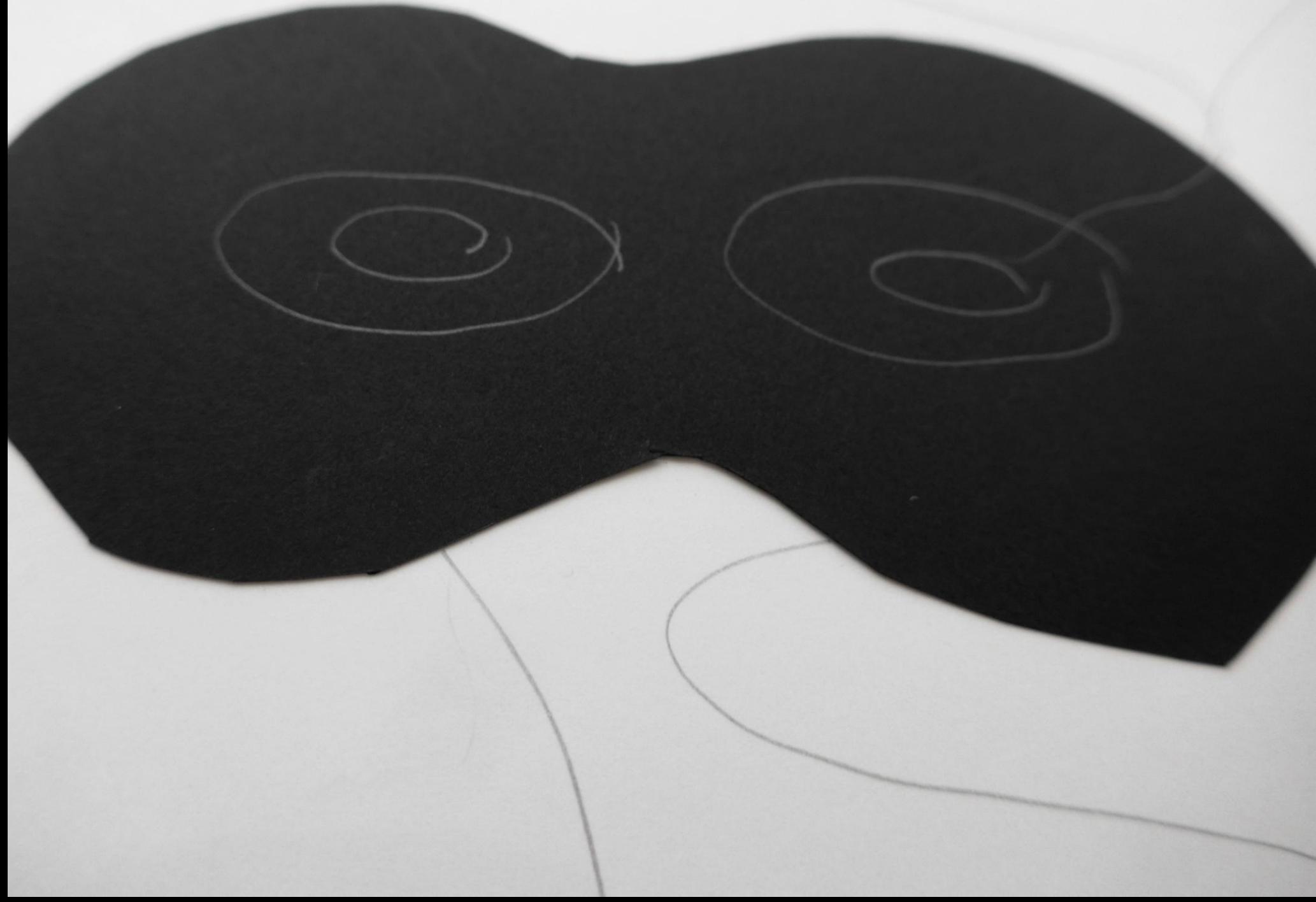
手、手



(左上)

自分の手、曲線。

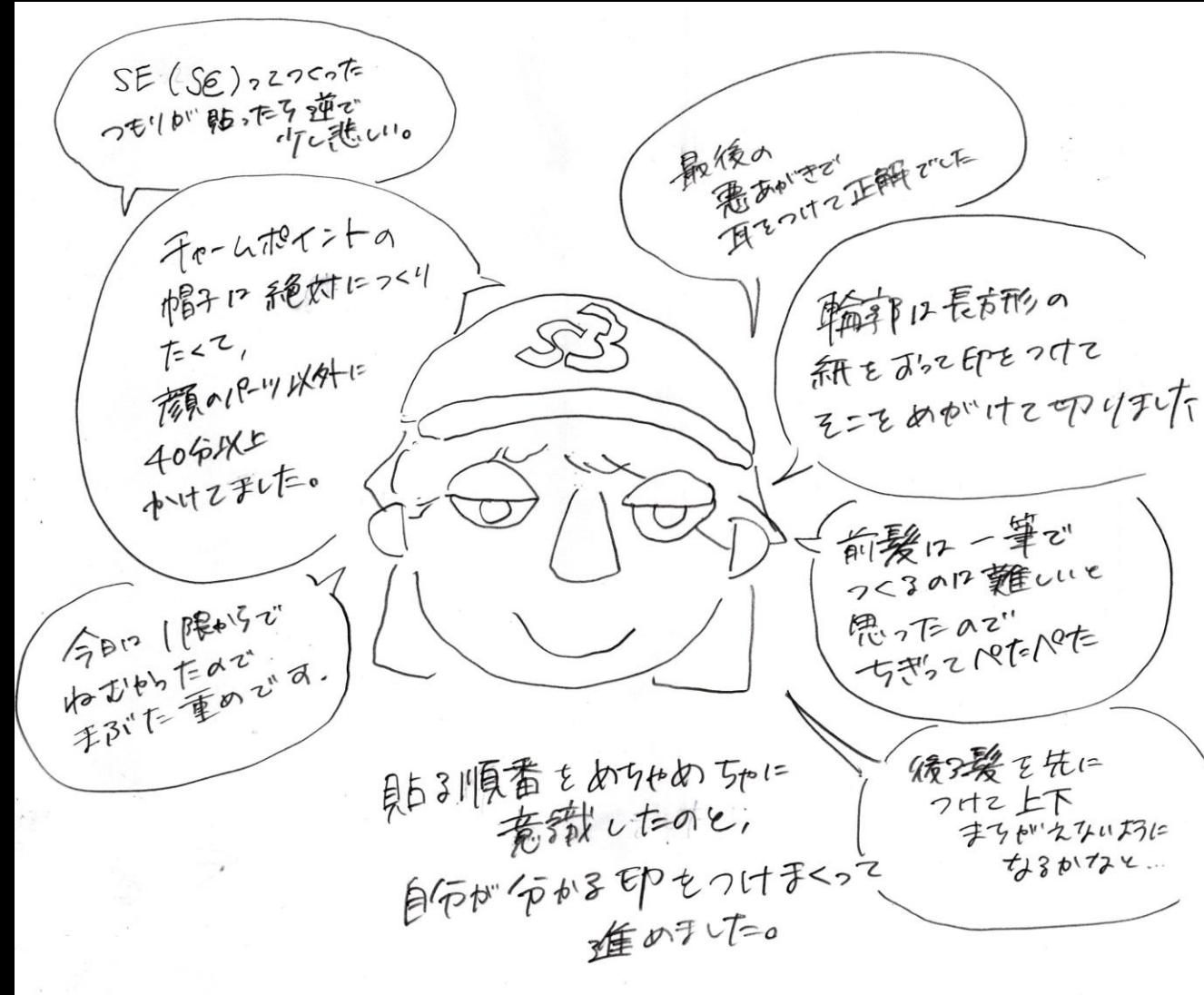
目をとじたときに
見えるぐるぐる





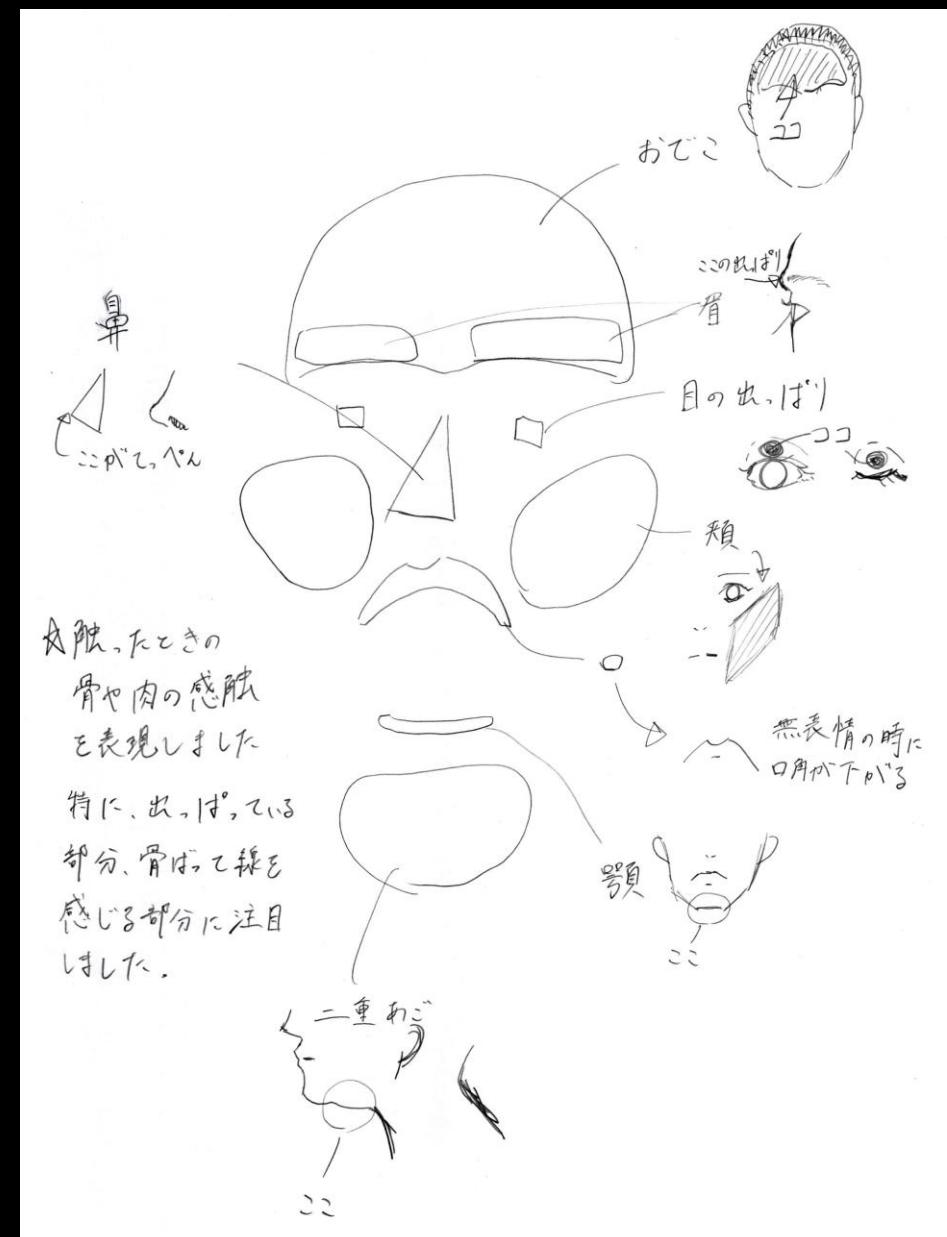
021

眠たい 帽子へのこだわり





029

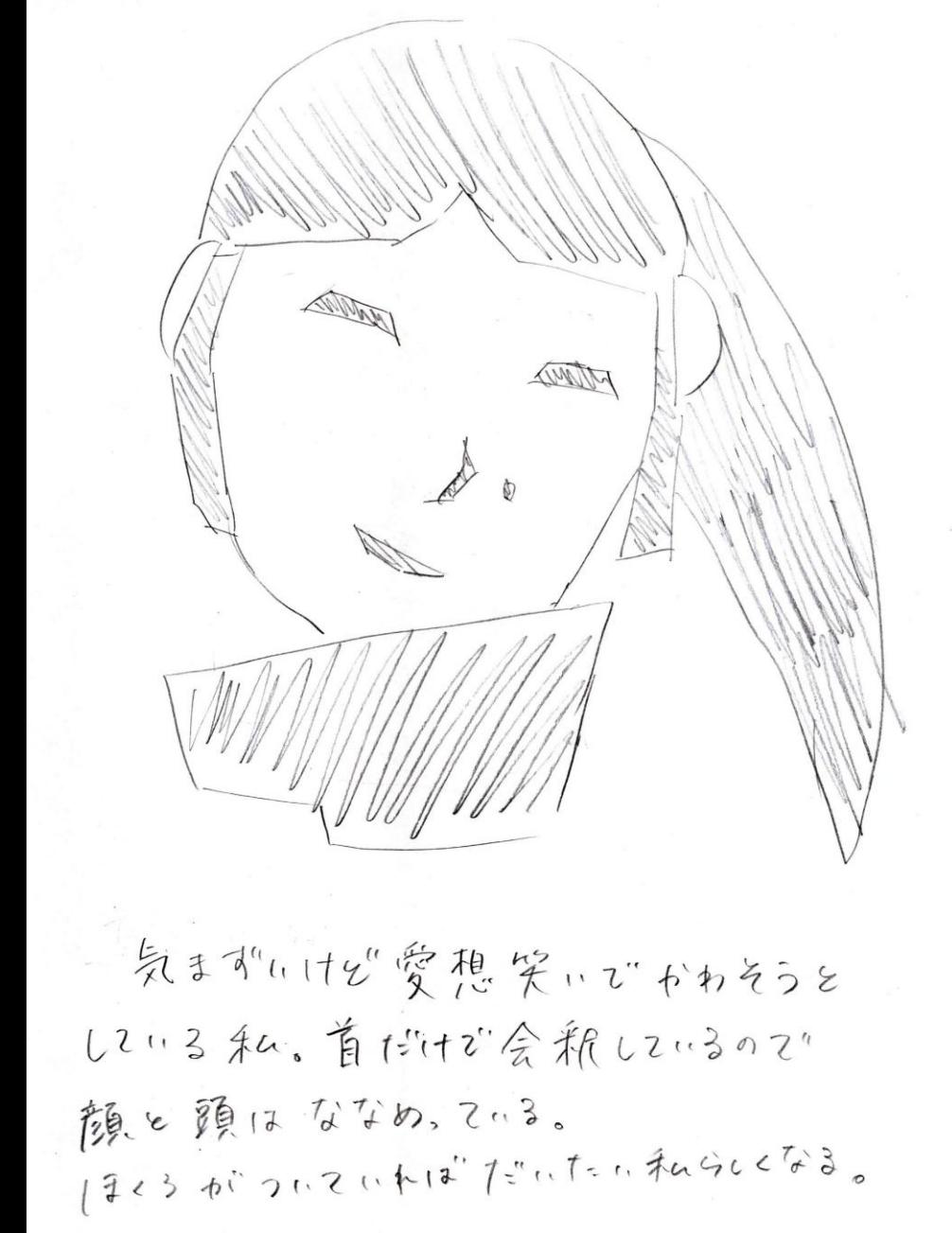


閉じた目の出っ張り

目が笑う



049



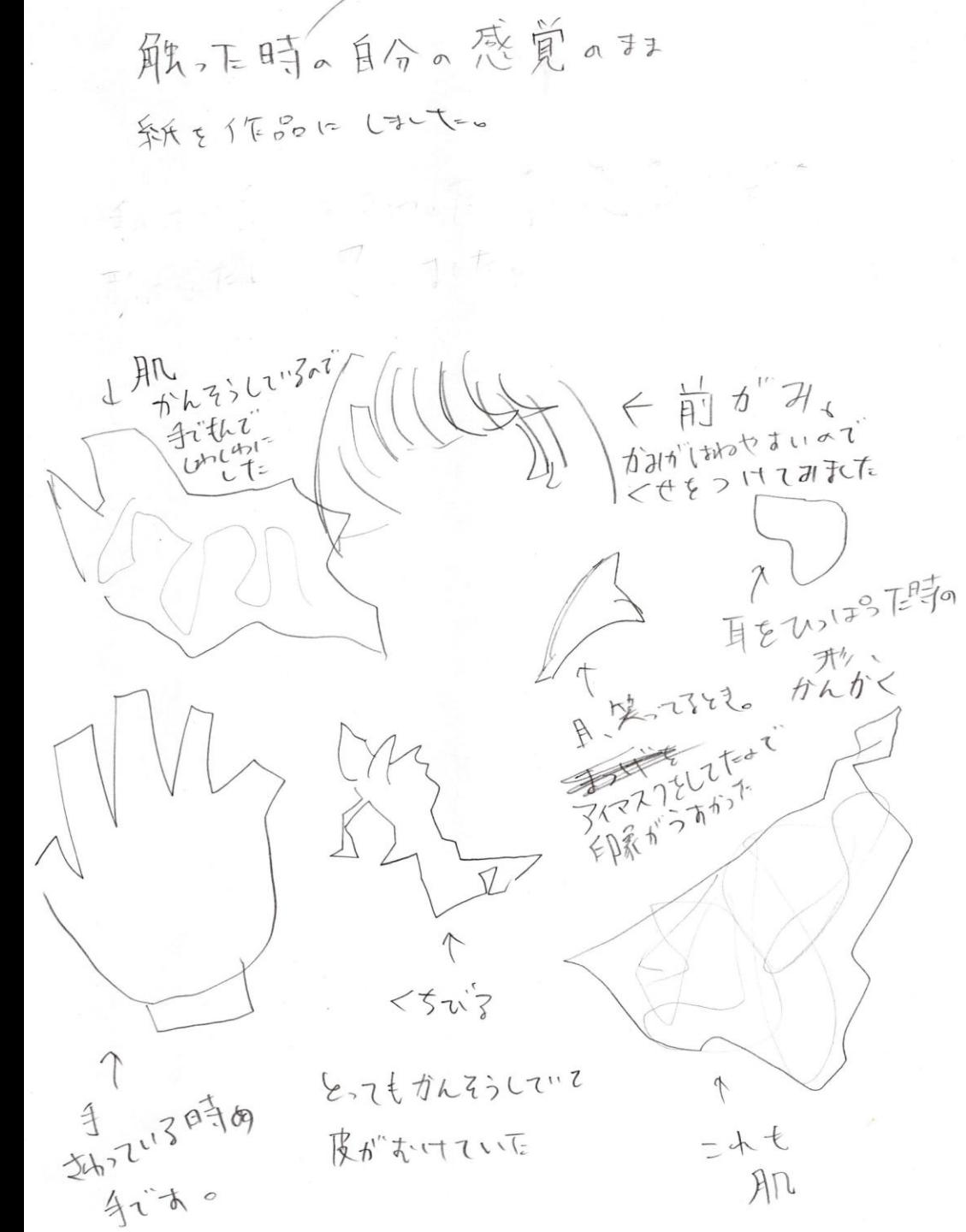
ほくろ 愛想笑い

気まずいけど愛想笑いでやわらか
している私。首だけ会話しているので
顔と頭はなまめでる。
ほくろがついていたは「たま」といわれてた。



014

目 笑ってるとき 乾燥した肌



手

触る手 触られる手

触覚は手の位置から見る

手の赴くままの作業

触る手 触られる手



004

・左手から見た自分(背面)

左手
親指だけ
柱?とおがく

右手; 柱がらつ

アゴ

首が一周する
頭

左肩甲骨

右はさほどない。

背中の面

肩~手首
紙が右にもう続いて
いかなかったため、
むりやり右手につなげた。



左手から見た自分（触覚的な視点）

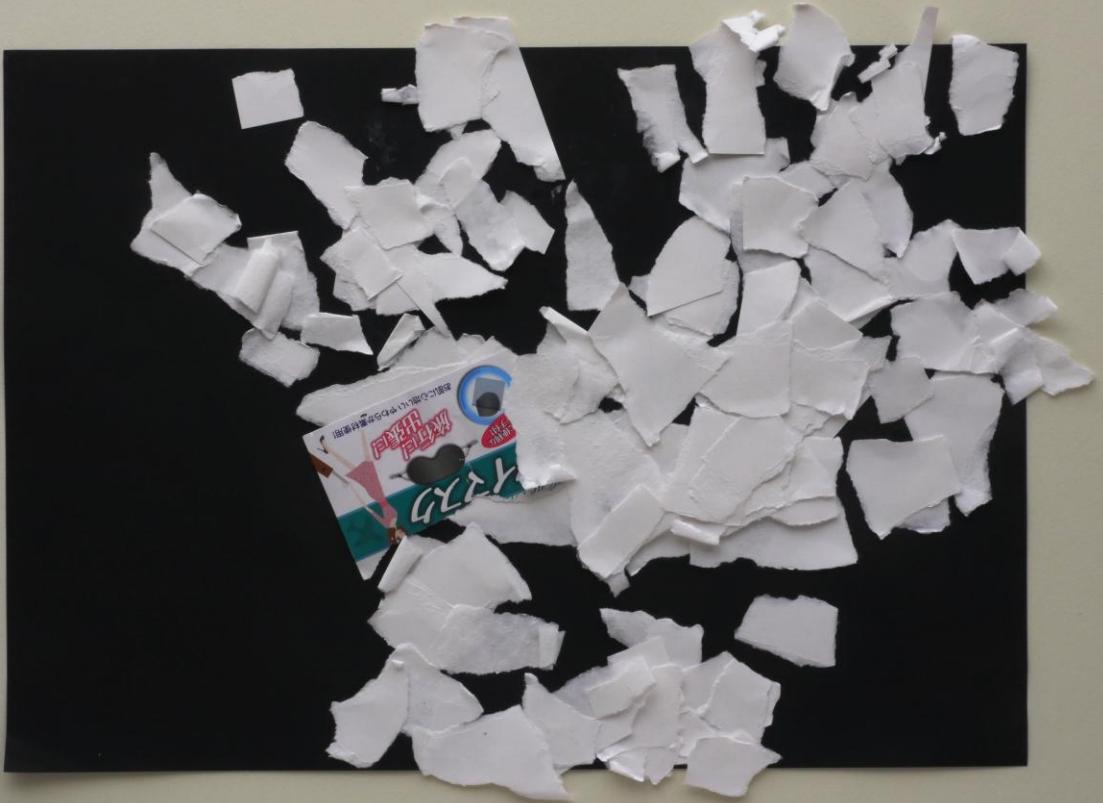


015

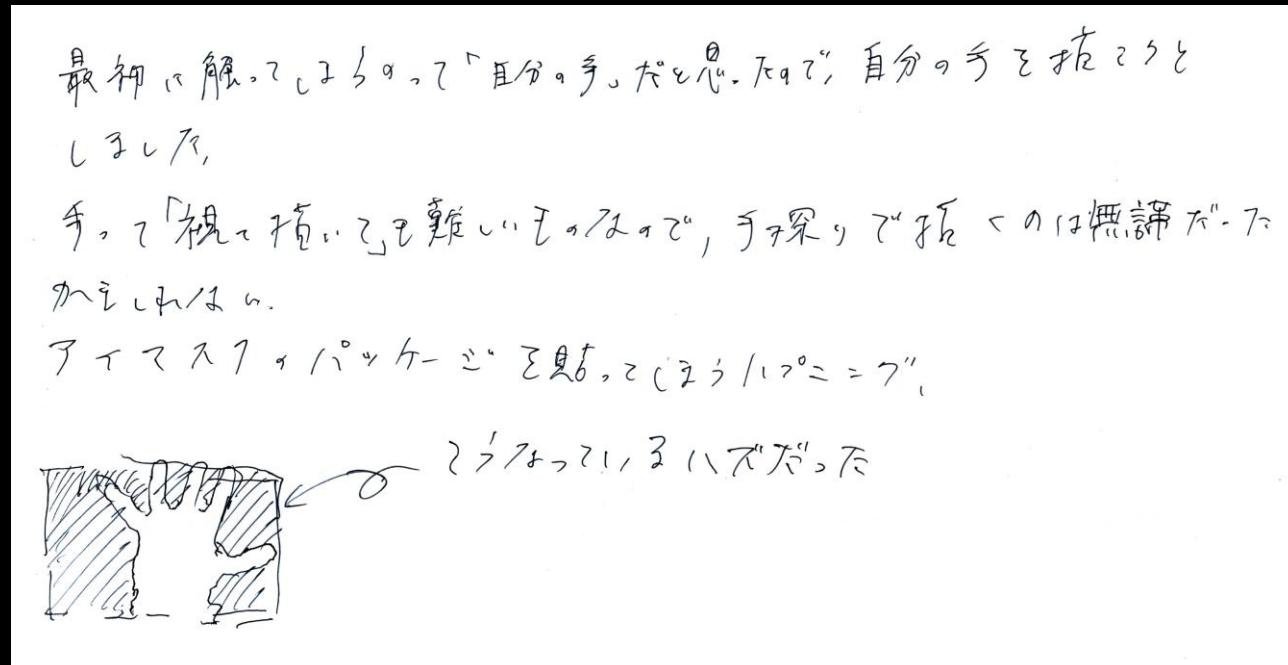
手を触る

午が歯や体と過ちを生、歯や体も午でから2回と
今回の授業を受けて新たに気づきを得たので、歯や体
から受けた午の感触や部位に対する触り方の違いを発
現しました。





043



最初に触ってしまうのって「自分の手」

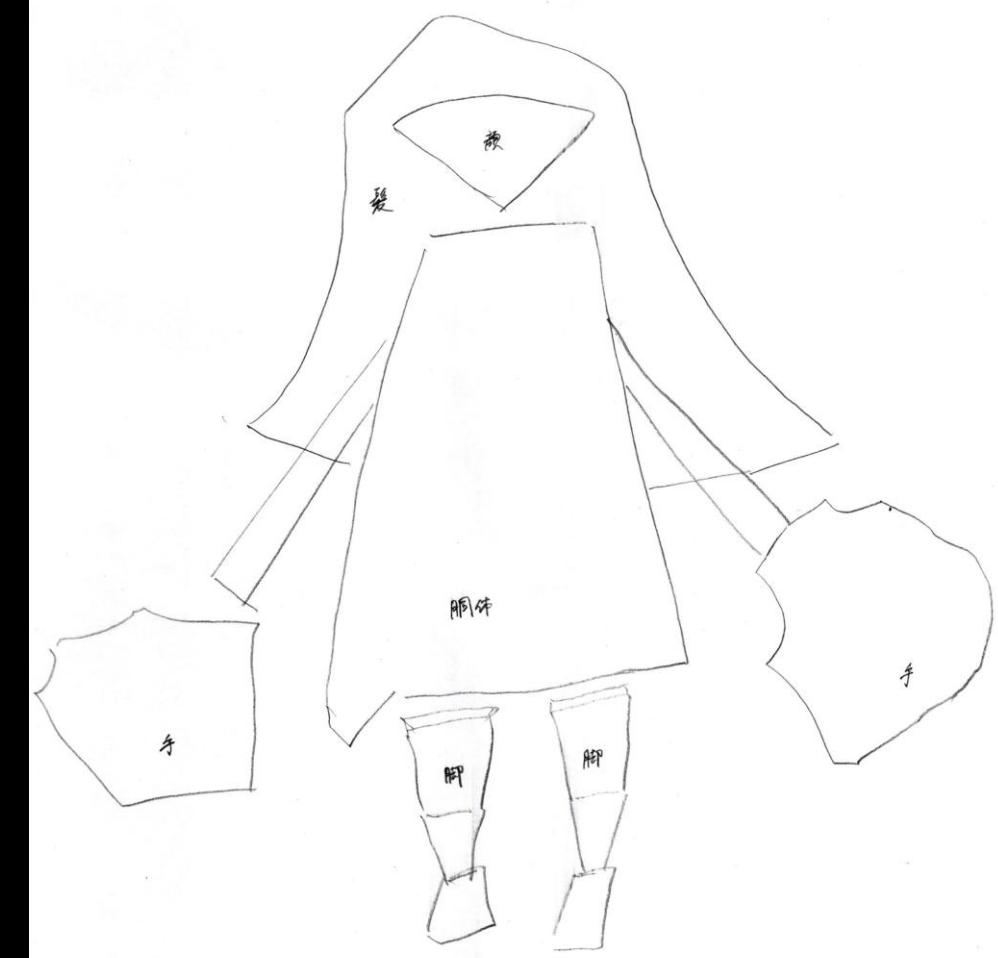


混入ハプニング



020

手の周りの空白



ひざを曲げて寝ころぶ"という体勢です。

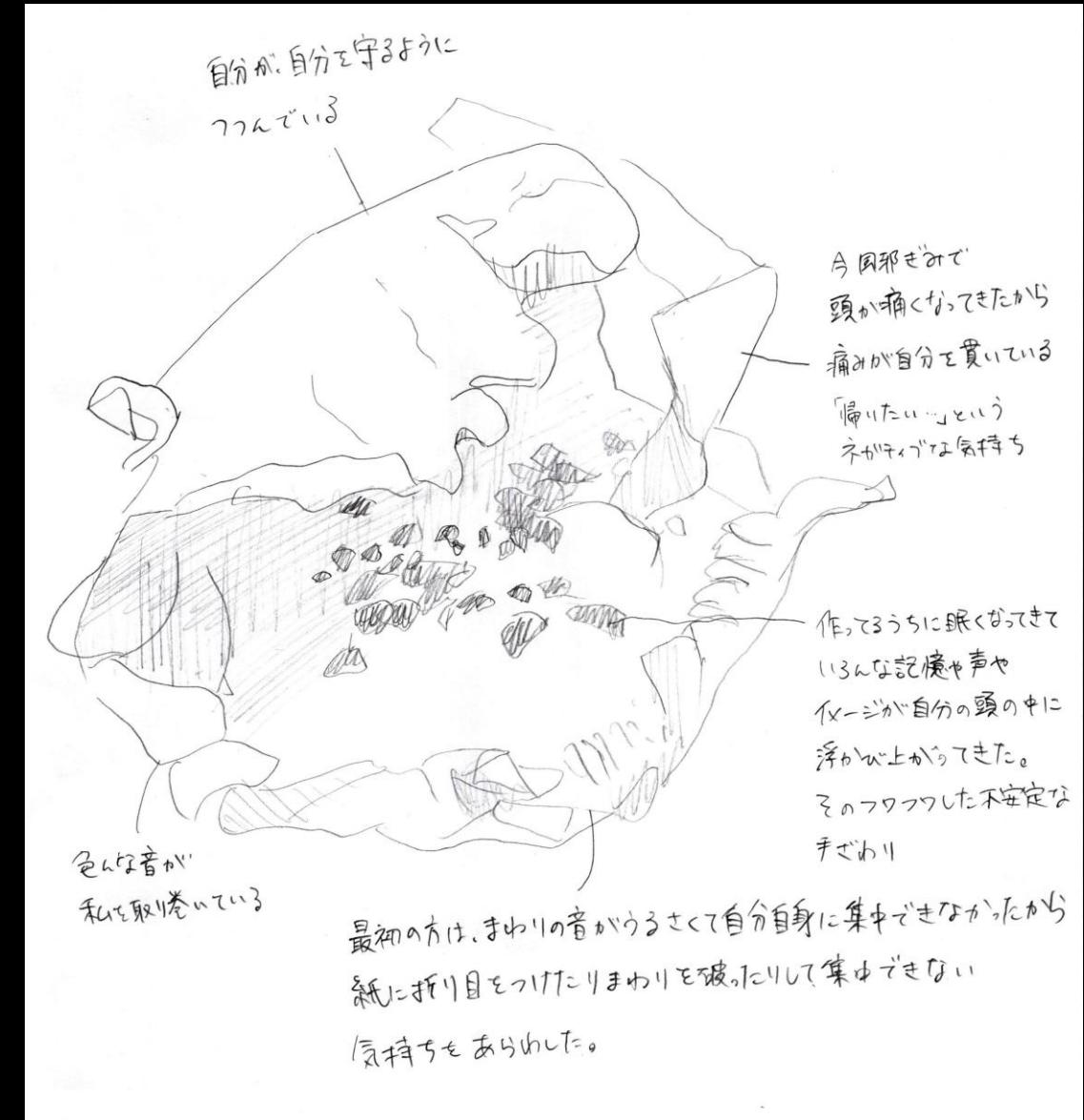
顔にはいっぱいパーティがありますが、顔を除く"体"の存在感を感じ、そこを立体化してみました。今回のワークショップで触覚も頼りにしている場面を多く感じた。

手の周りの空白を多めに作りました。

手の赴くまま



012



012-k1

今風邪ぎみで
頭か痛くなってきたから
痛みが自分を貫いている
「帰りたい」というネガティブな気持ち

作ってるうちに眠くなってきて
いろんな記憶や声やイメージが自分の頭の中に浮かび上がってきた。
そのフワフワした不安定な手ざわり。

最初の方は、まわりの音がうるさくて自分自身に集中できなかつたから、
紙に折り目をつけたりまわりを破ったりして集中できない気持ちをあらわした。





006

目を開いた状態で、スタイルツリを使うことが出来なくて、
だったら折ってはんとかすよしかなーと思って、立体で制作しました。
色々と折って組み合わせて、さう中に段々楽しくなってしま!!。
そのまま手癖でや。これでいいかという形を作っていましたので。
作品の意味やコセツの解説は上手く出来ません。
触ったときの立体感+質感を意識しながら制作しました。





色々と折って組み合わせているうちに段々楽しくなってしまい、そのまま手癖でやってみたいなという形を作っていましたので、作品の意味やコンセプトの解説は上手く出来ません。



平面の2枚(白と黒)の紙を全部つなげて状態で合体させてみた。
私の自我は結構、くせものだと感じる。
そのため、立体的に2枚の紙を合体するよりは立体的にさせてみたい。
自分が見えない状態で、できるものが自分の内面を一番引き出すことができるのではないかと考え、自由に手を動かしてみた。
思うような形にならなくて全てがいい
自分の一面を知道自己で見つけ出していく面白かった。

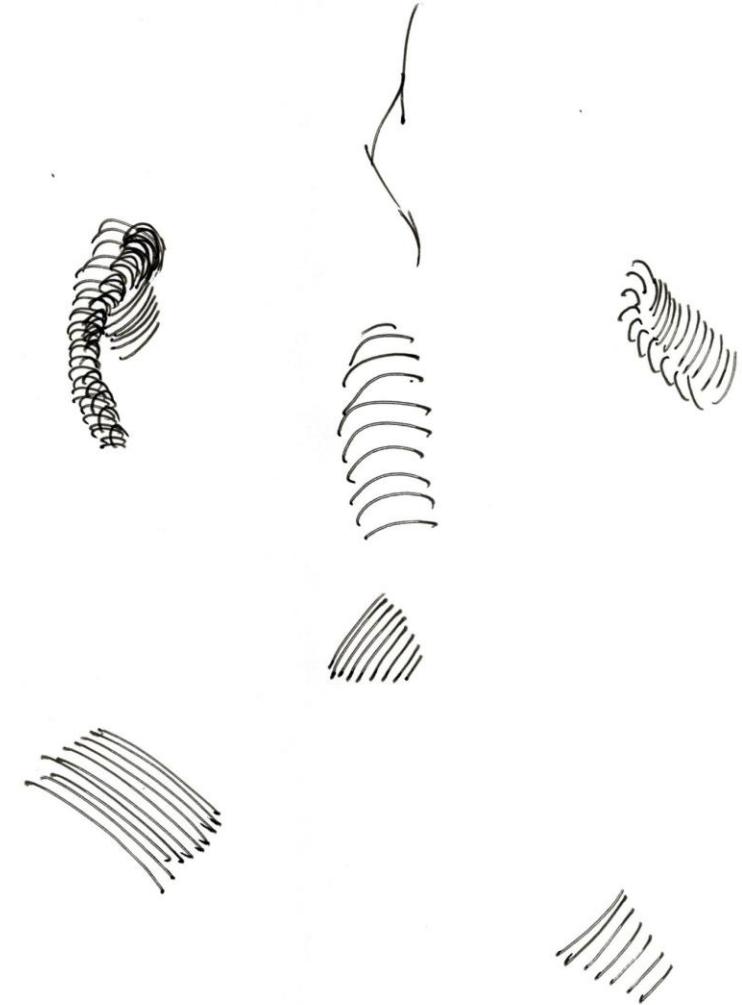
自分が見えない状態で、できるものが自分の内面を、一番引き出すことができるのではないかと考え、自由に手を動かしてみた



さかの時の 車の頭の部分の輪郭や線を意識しながら 半立体の頭を
周彫刻して行った。特に何を見つけて感じられる物を作っていた。
では限り何を教わっていこうとした。



025

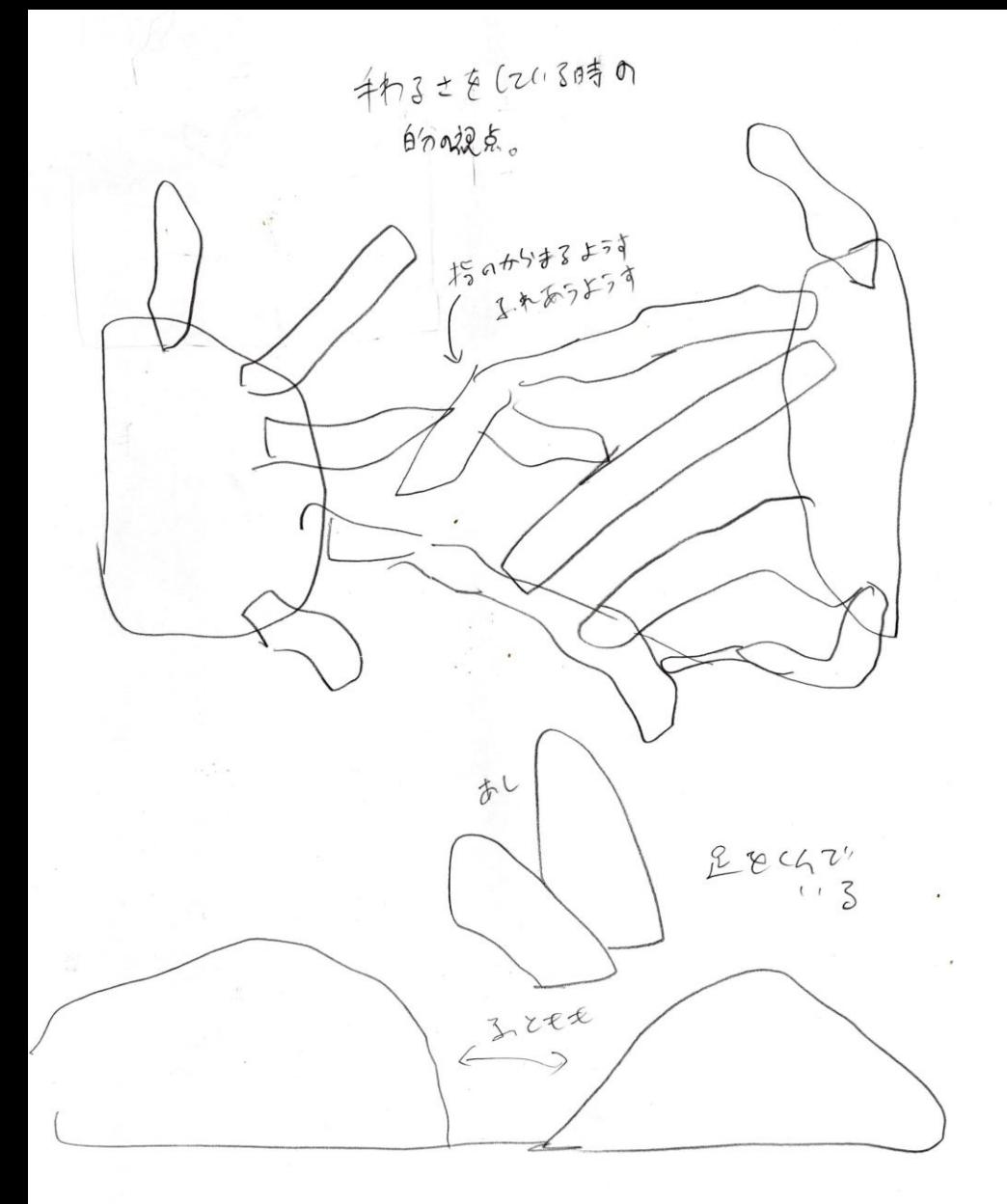




特に何を見ずさわって感じ
られる物を作つていった。
できる限り何も考えずやつ
ていこうとした



039



手わるさをしている時の自分の視点

触覚

柔らかさ

骨 硬さ

毛髪

触覚的イメージ

柔らかさ



001



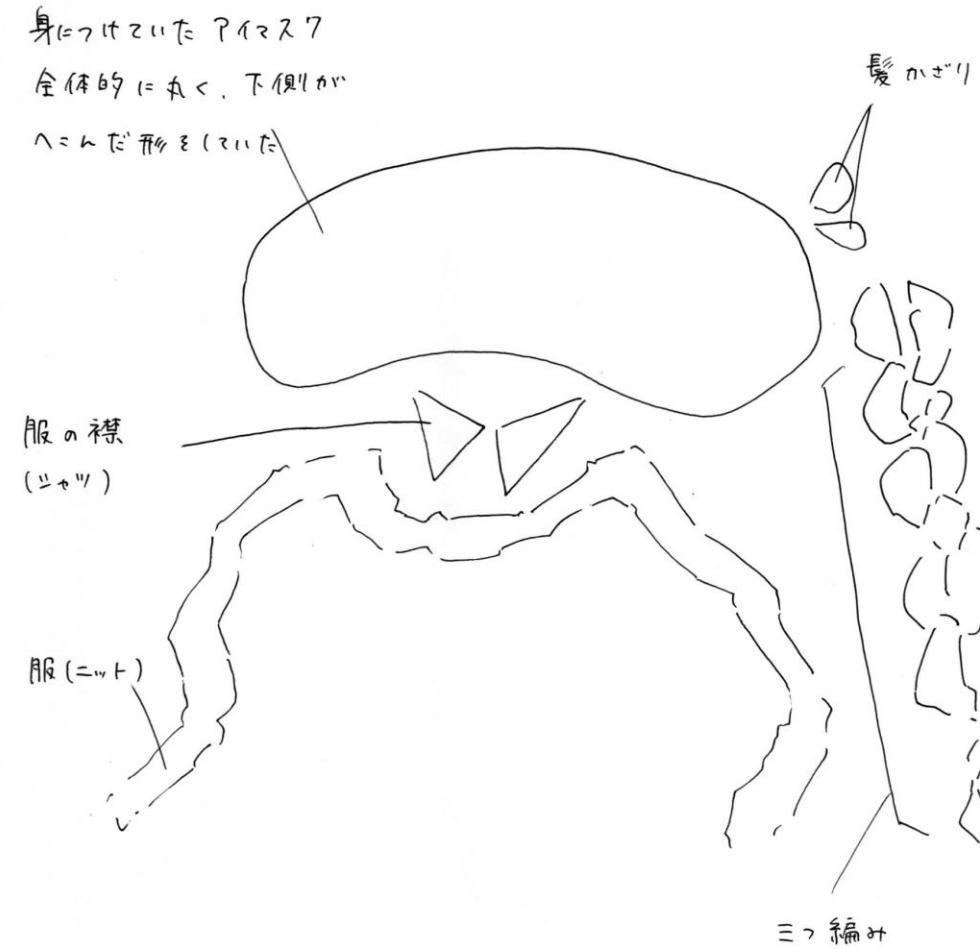


フワフワは自分の色んな
モノ・コトを感じるセン
サーを表している



028

三つ編み ちぎり絵



- ・指で触ってみてやかたや質感を表現した。
- ・表面が柔かいものは黒の用紙を手でちぎって表現
- ・困る工業製品のようなものははさみで切って表現した。



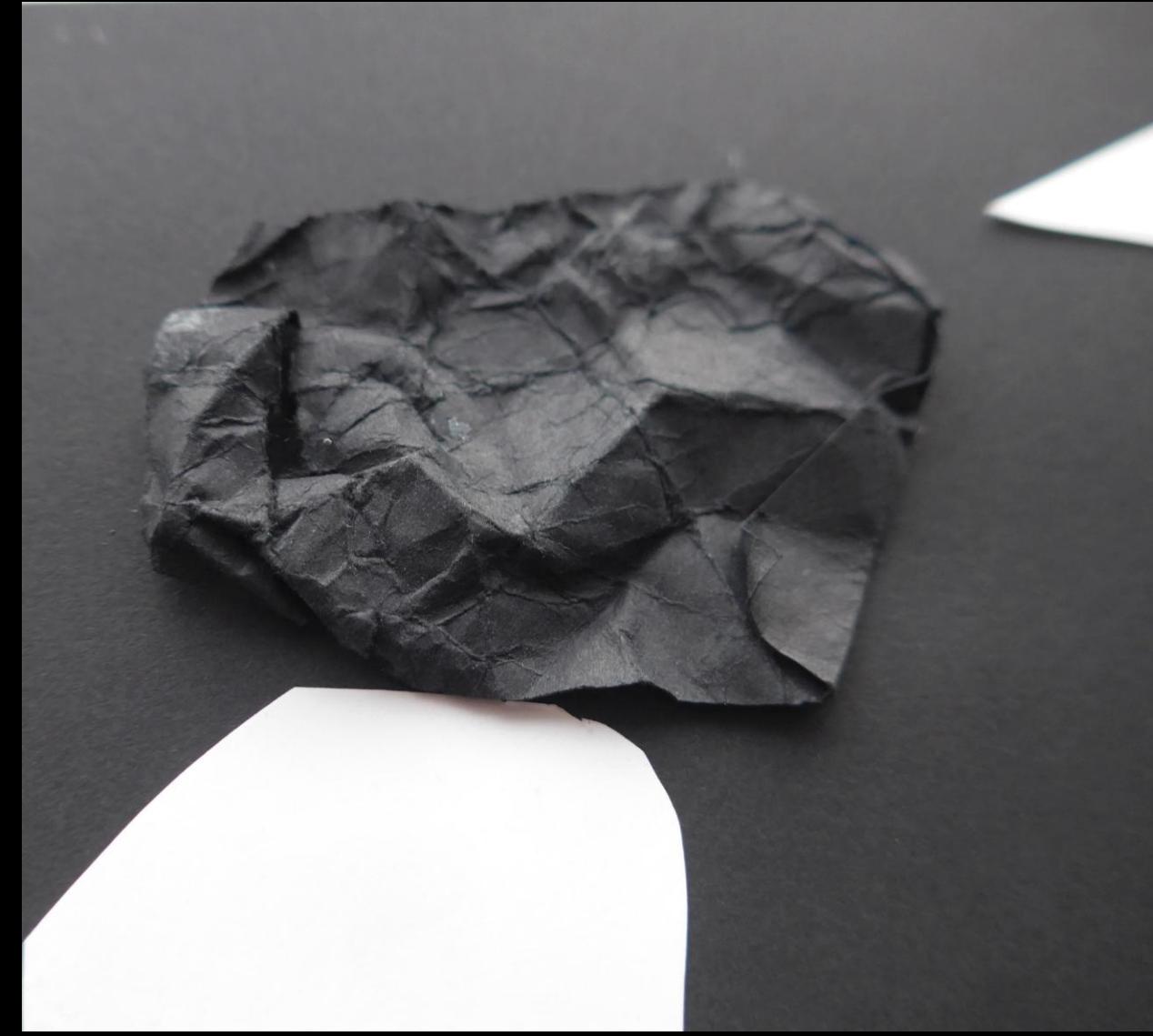
032

紙をクシャクシャにして貼りつけて表現しました



顔の見た目を再現するというよりは、触ったときの感触に注目して作りました。

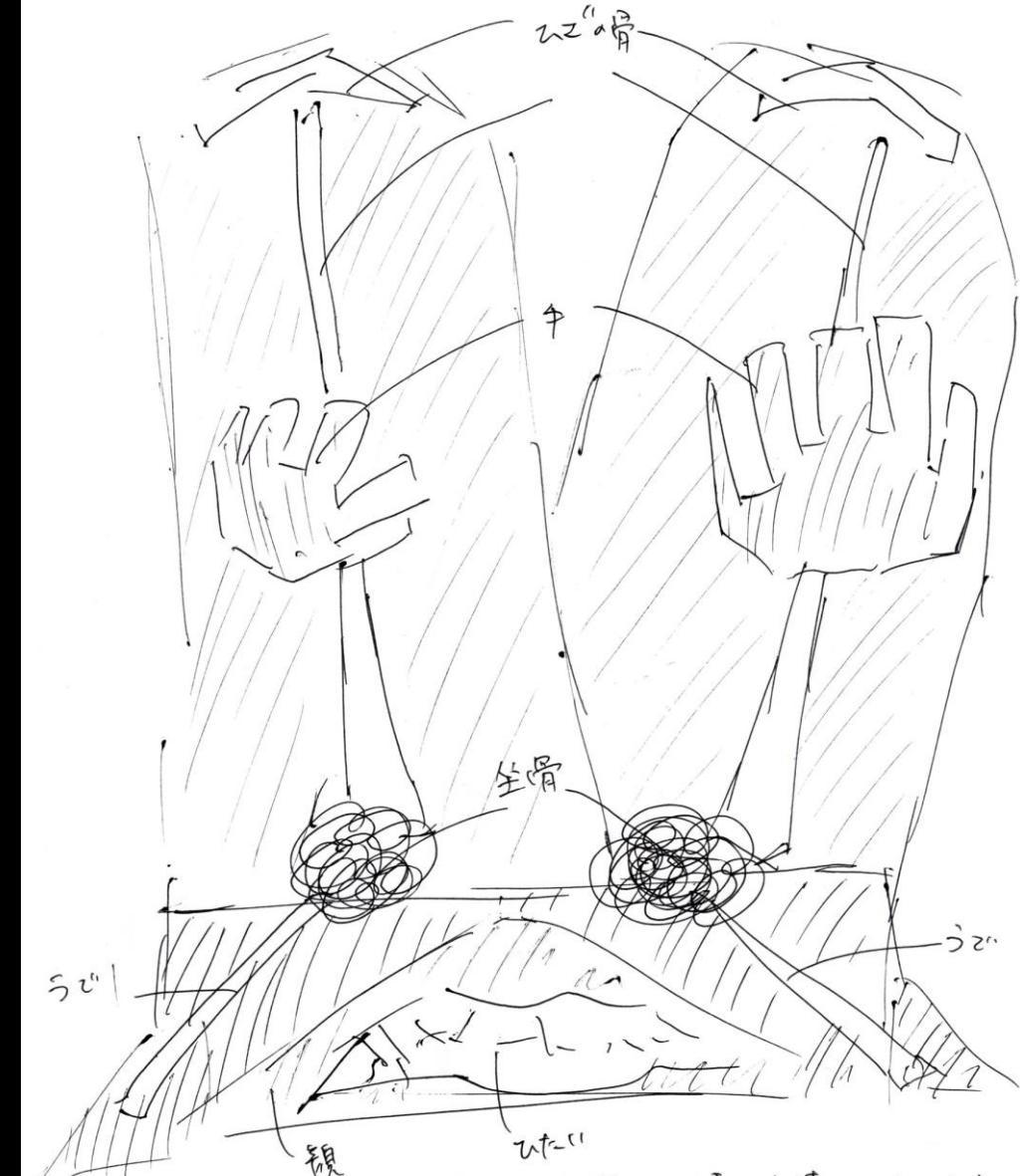
あまり骨を感じなかったので 曲線を中心に構成ほうを考えました。とは言ふも確かに硬い部分はあるので、それは紙をクシャクシャにして貼りつけて表現しました。



骨 固さ



046



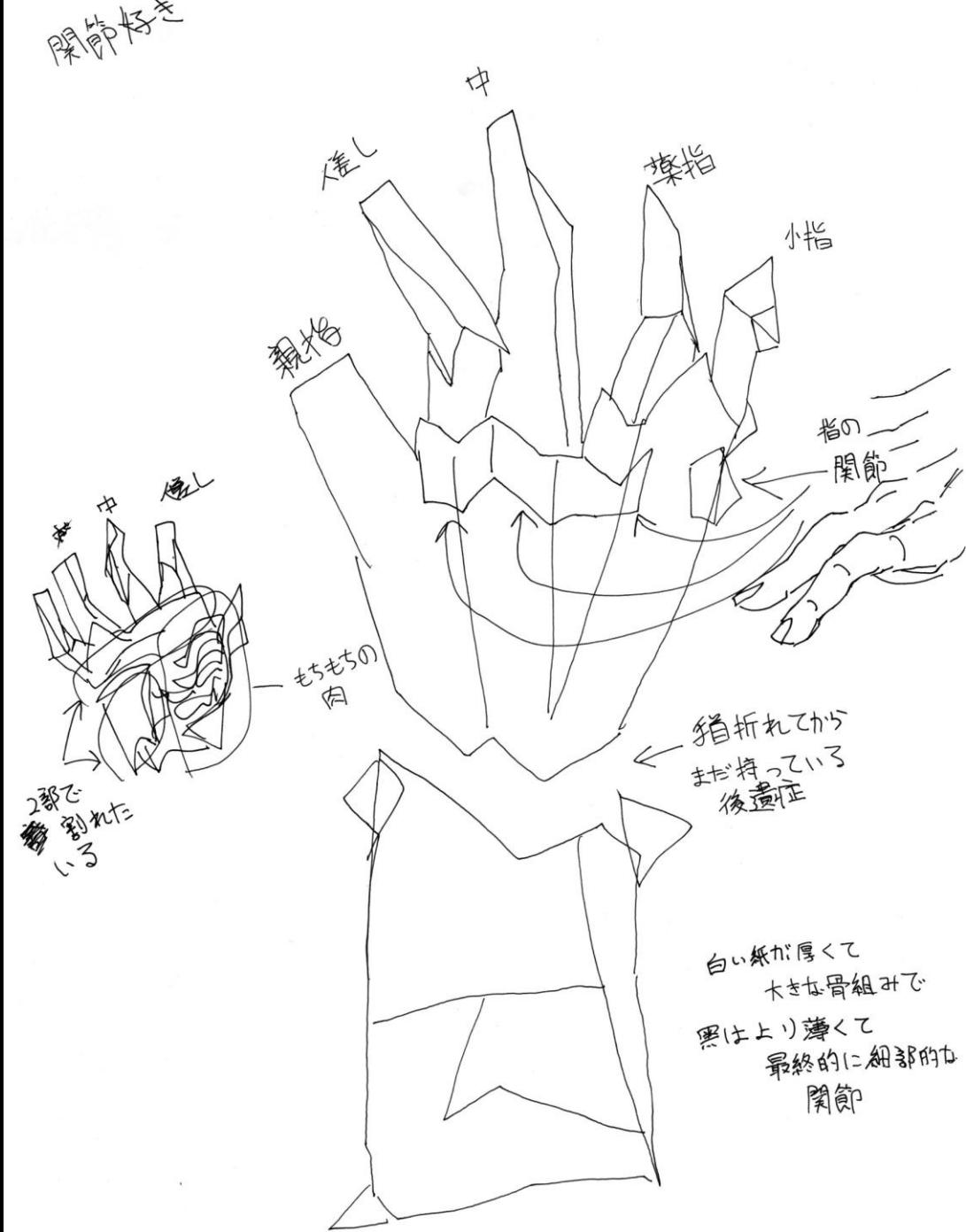
自分の姿と上から見た構図で、硬く立体的な表現出た
線。1=2, 2=3, 3=4は自分の骨を感じさせ、伝わる感覚の
強さを表現している。手前の人角は顔だけが目立つていて、骨が見え
ない部分とそうでない部分が顕著に表してある。

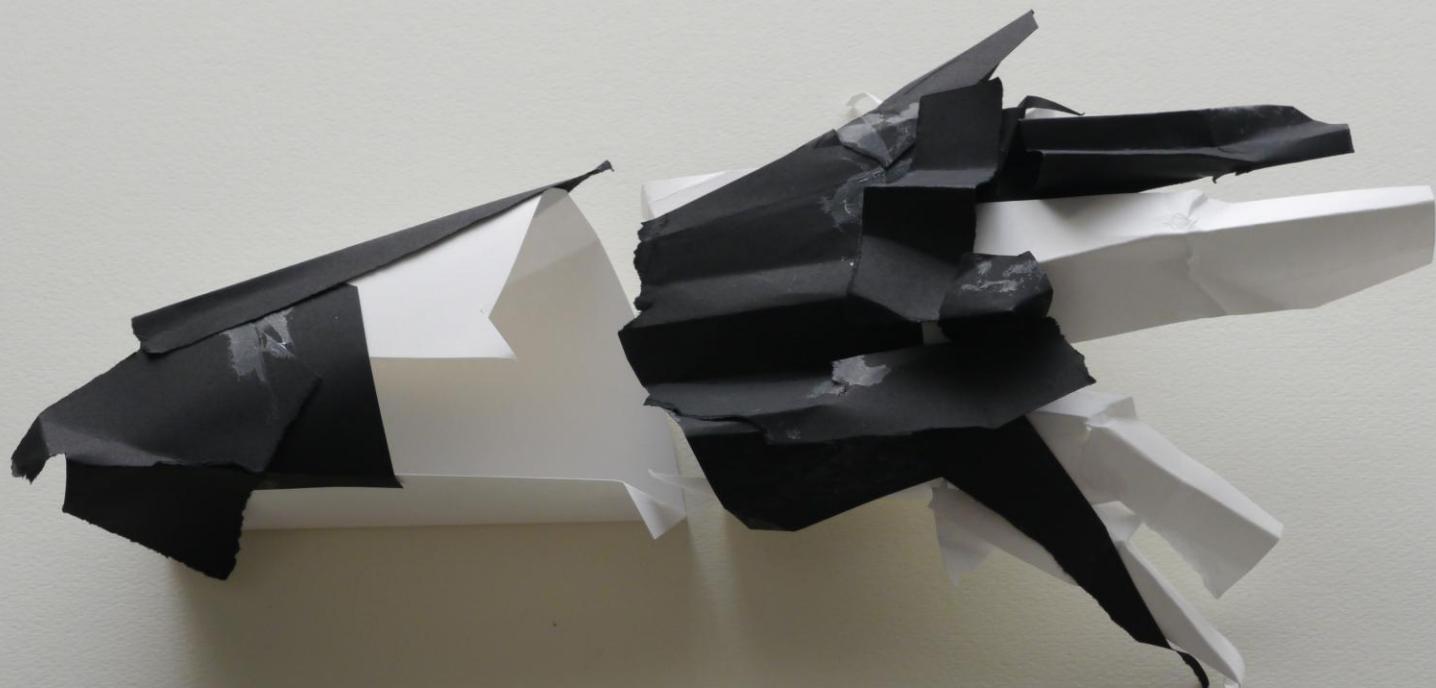
自分の姿を上から見た構図で、硬く立体でうき出た線になっているところは、自分の骨が感じることで伝わる感覚の強さを表現している。手前の三角は顔だが、目かくししているからこそ感じる部分とそうでない部分が顕著に表している





002



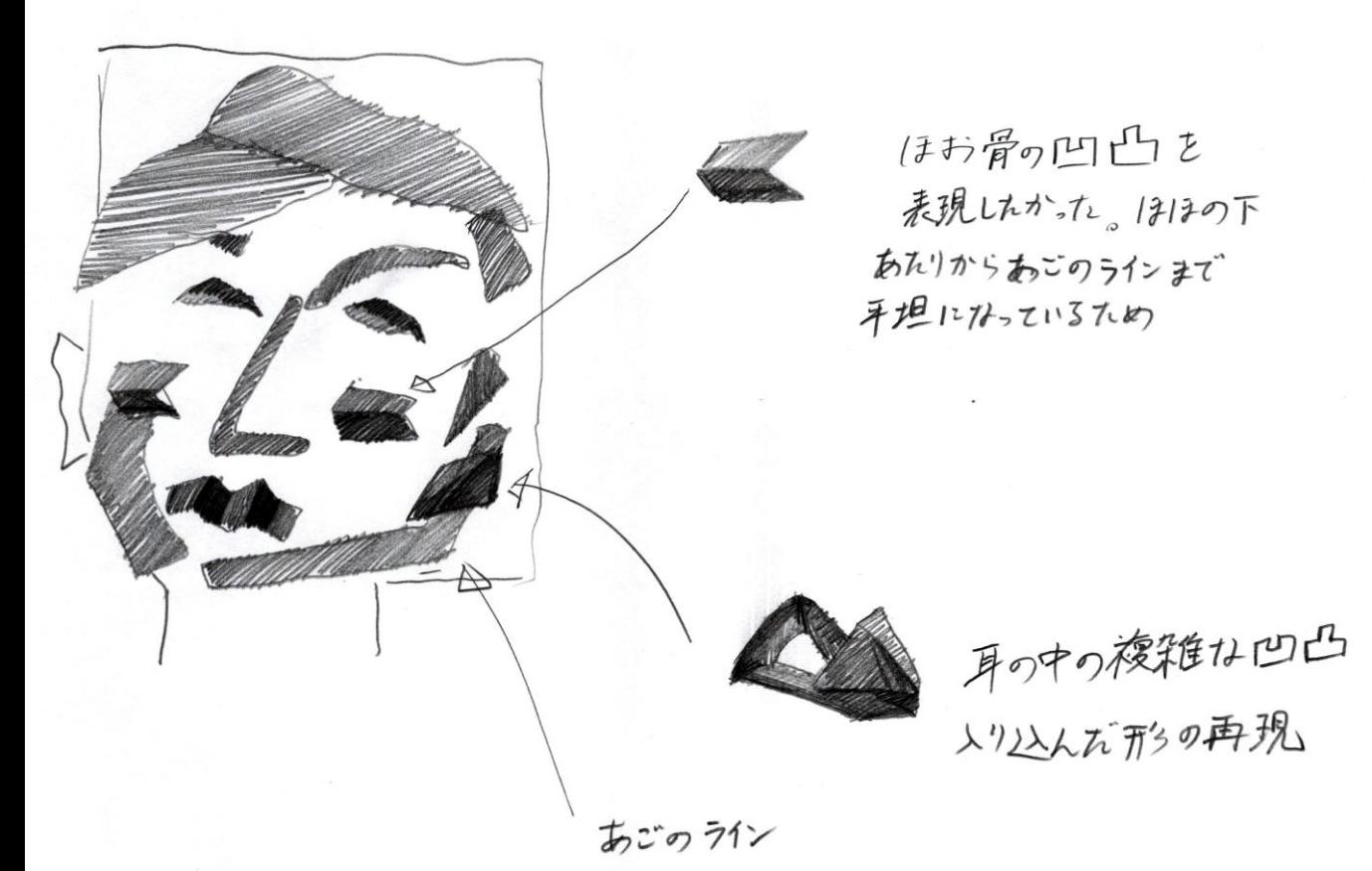


手首折れてからまだ持っている
後遺症



25023066
松崎翼

019

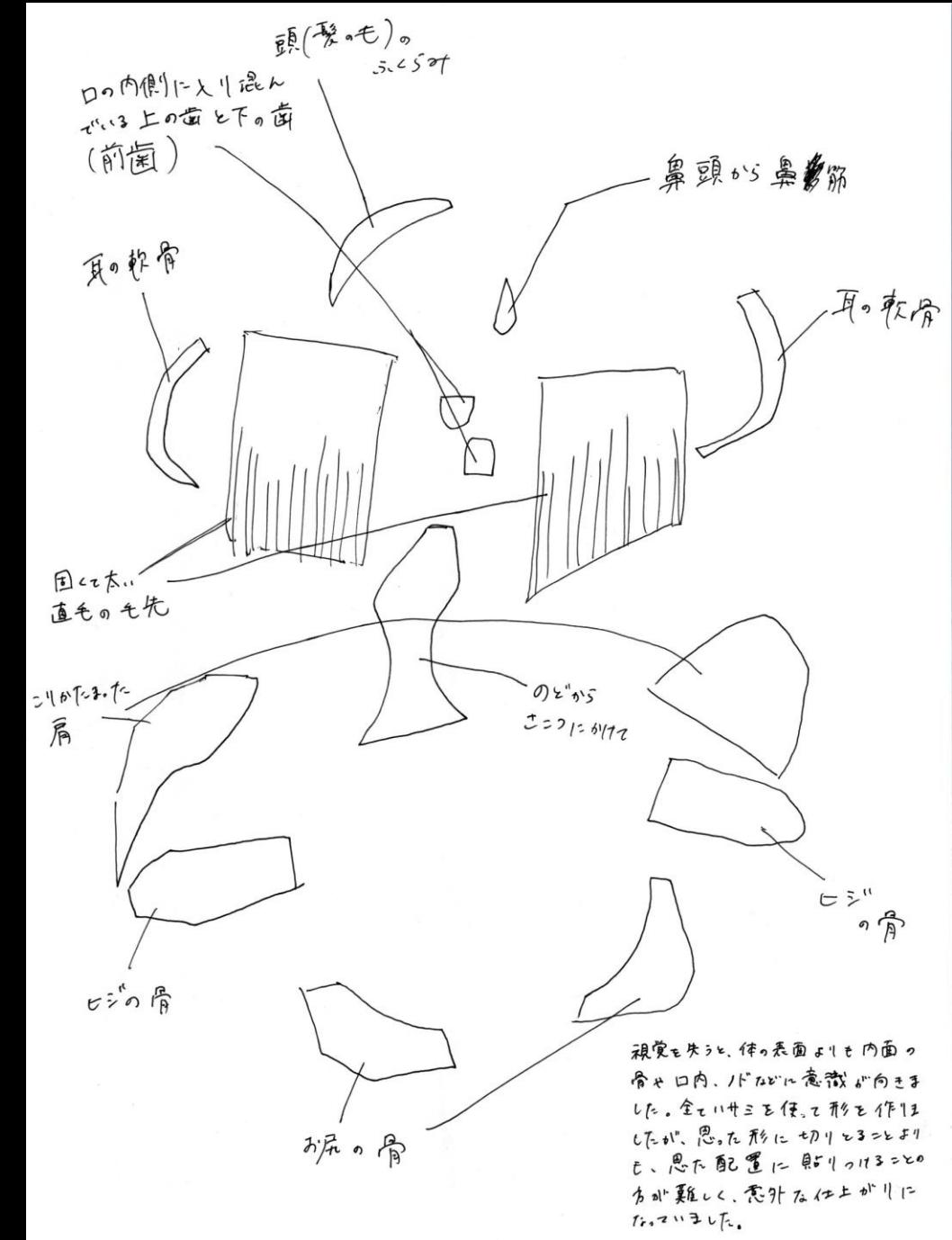


ほお骨の凹凸



051

口の内側に入り混んでいる上の歯と下の歯（前歯）

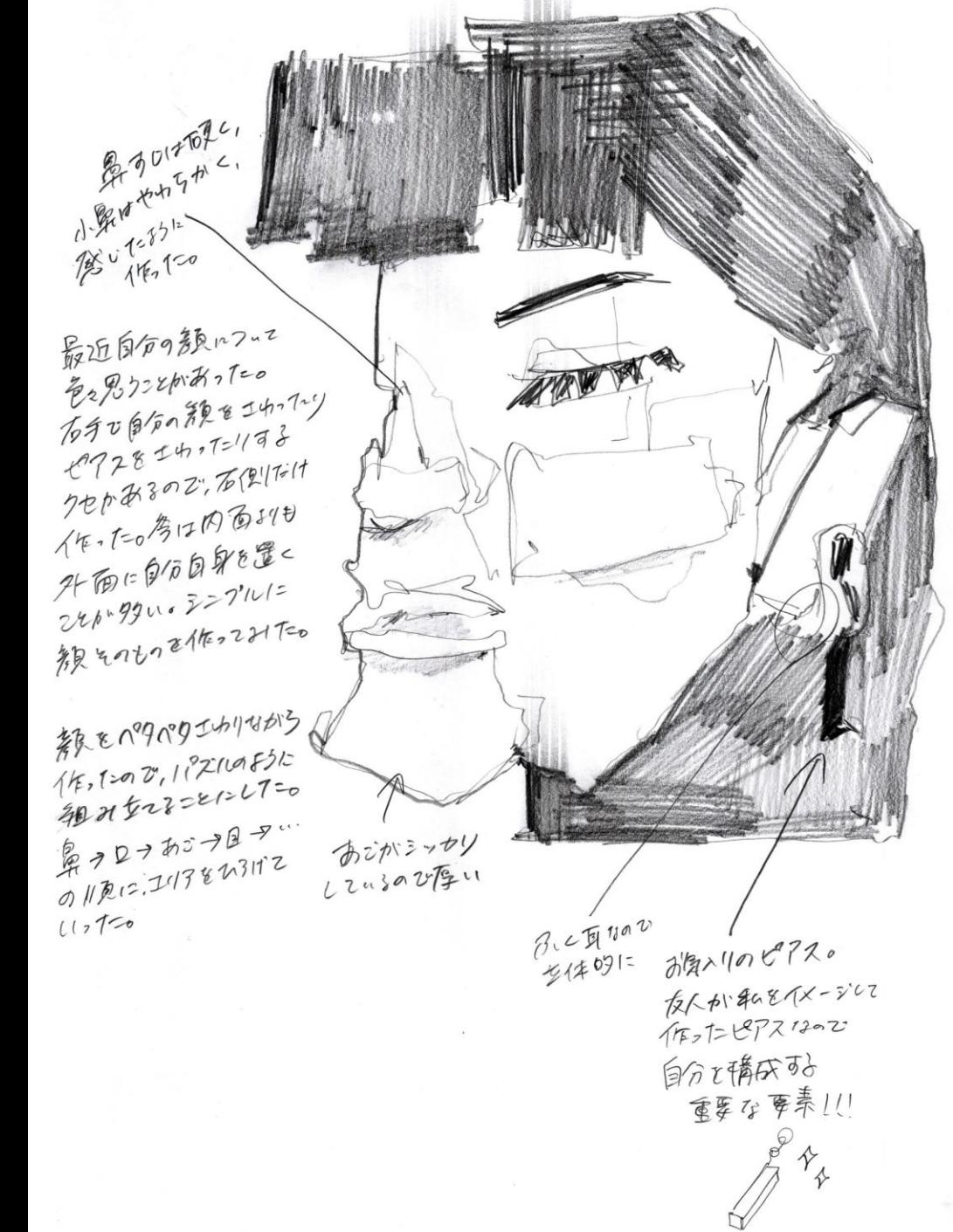


ピアス



022

友人が私をイメージして作ったピアスなので
自分を構成する重要な要素





054



顔が石みたい。
顔面の皮膚感覚が鋭感なので、表面に
感じられるのがアスレチック...という顔。

全体的にツルツルとして、外見なのに
触ると骨の存在を感じる。



表面に感じるものが
ピアスしかない…

髪 まつげ



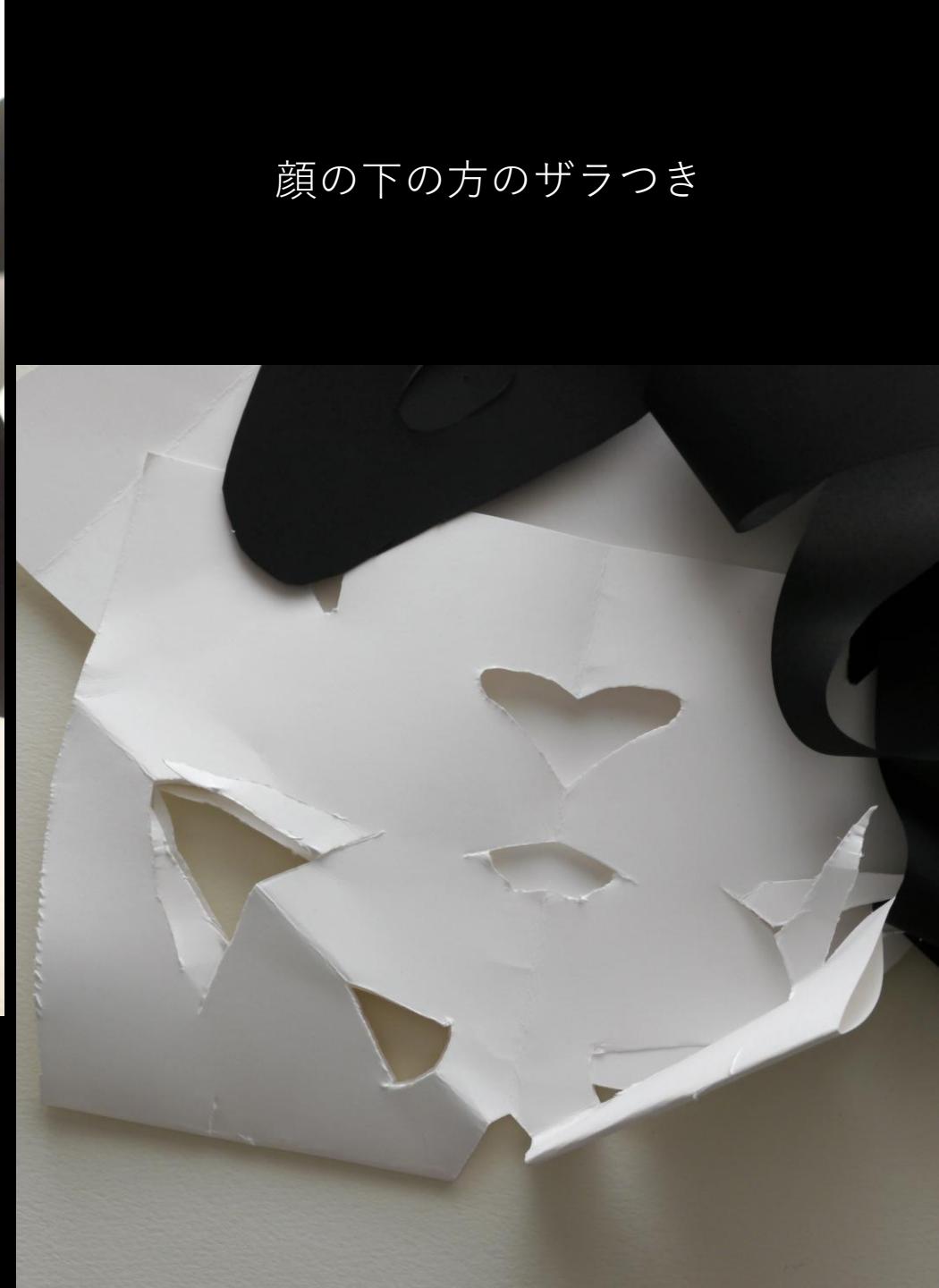
003

自分の角覚え形(=vT²時12、裏のくろうでや、口の曲線が)"
印象的T²形: 矢印形(=vT²) 横顔玉手千-7(=形を作)玉T²
全体的12角(=T²形)丸T²(=T²), やからんと表現T².
T²部分の切り絵12.穴を開けT². 顔の下の方へサクッと感T².





髪のくるくる



顔の下の方のザラつき

☆ 白の紙と黒の紙

で逆にして作り
L=10cm

足りなくて
もう一つ作った前髪

前髪
(先に切りサ
を入れて)
まなみ



鼻 (紙を長方形
にせり、はいのりをつけて
立ててからにつけた)

鼻の立体感

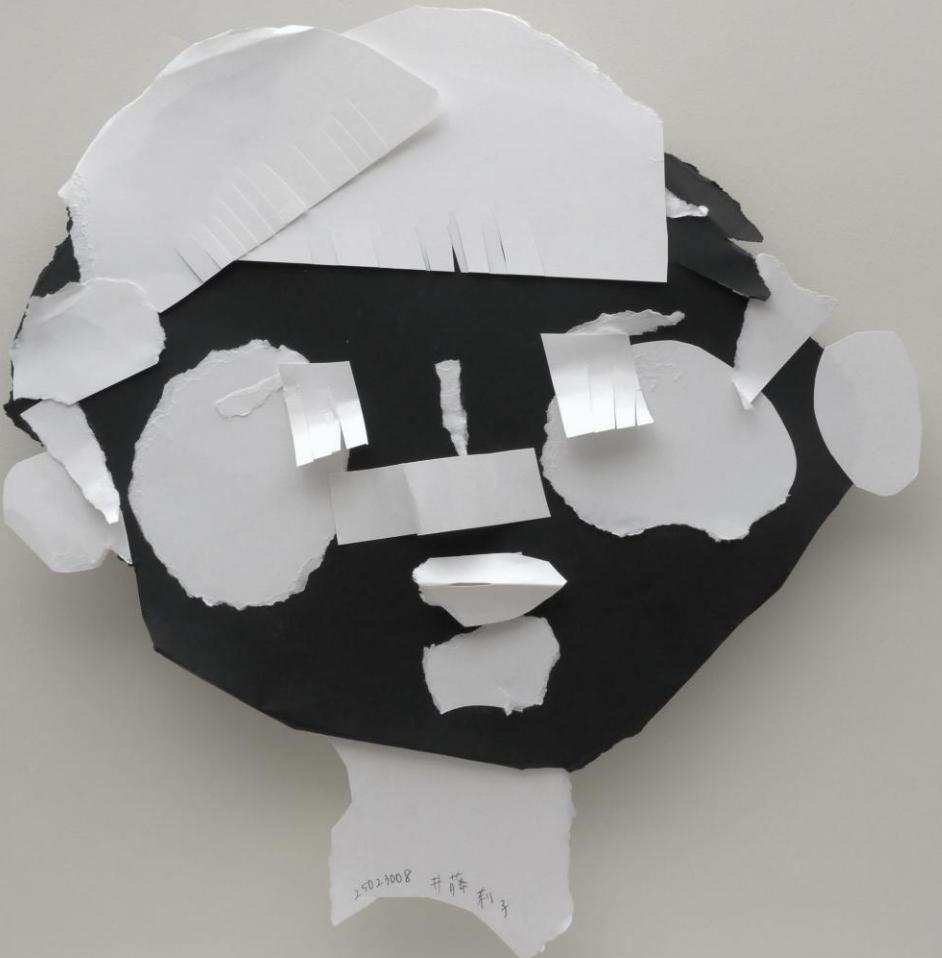
口ひら
(少しうねり
して折った)

ほほのふくらみ

わざのふくらみ

016

まつげ

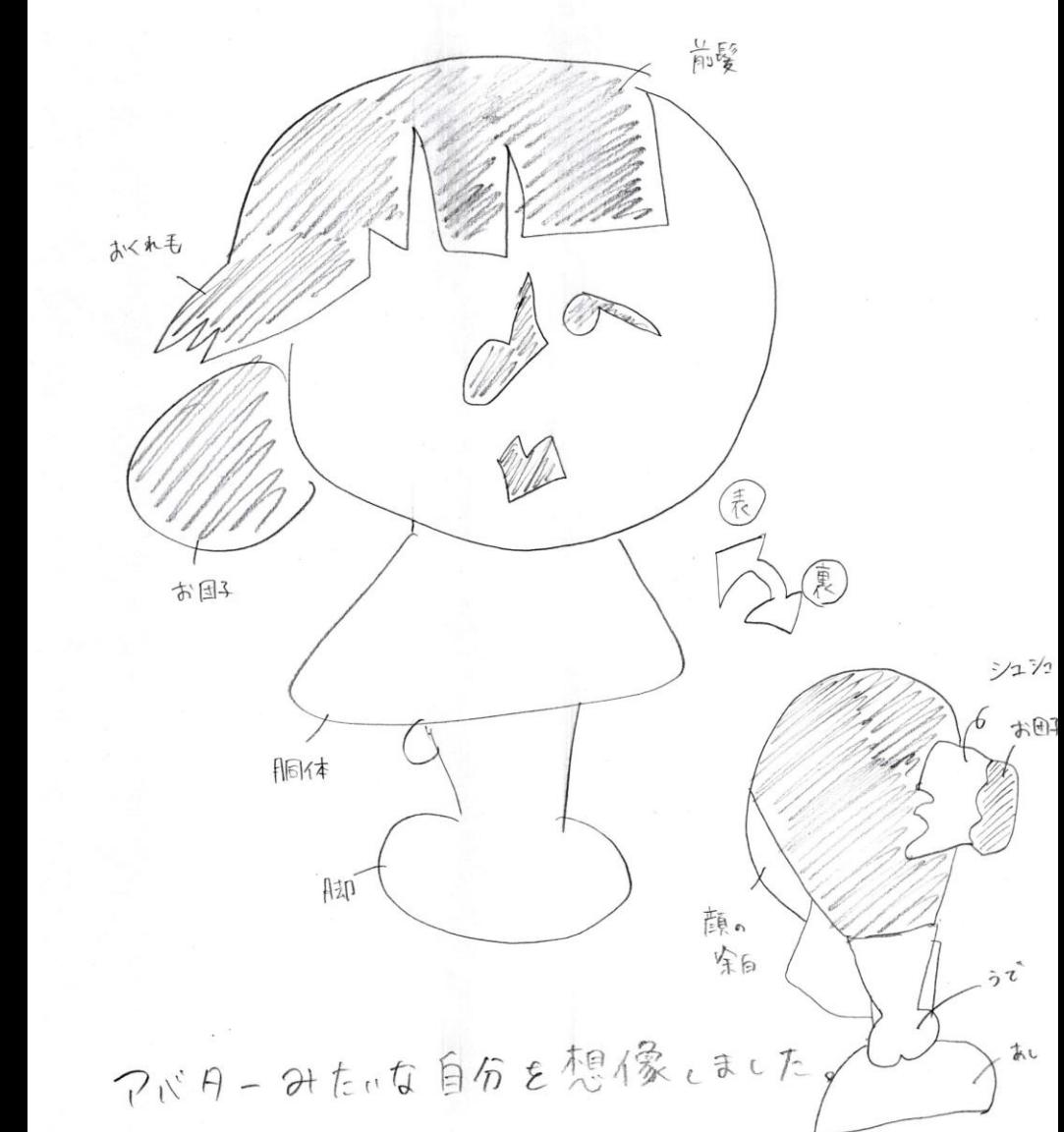




037

アバターみたいな自分

おくれ毛



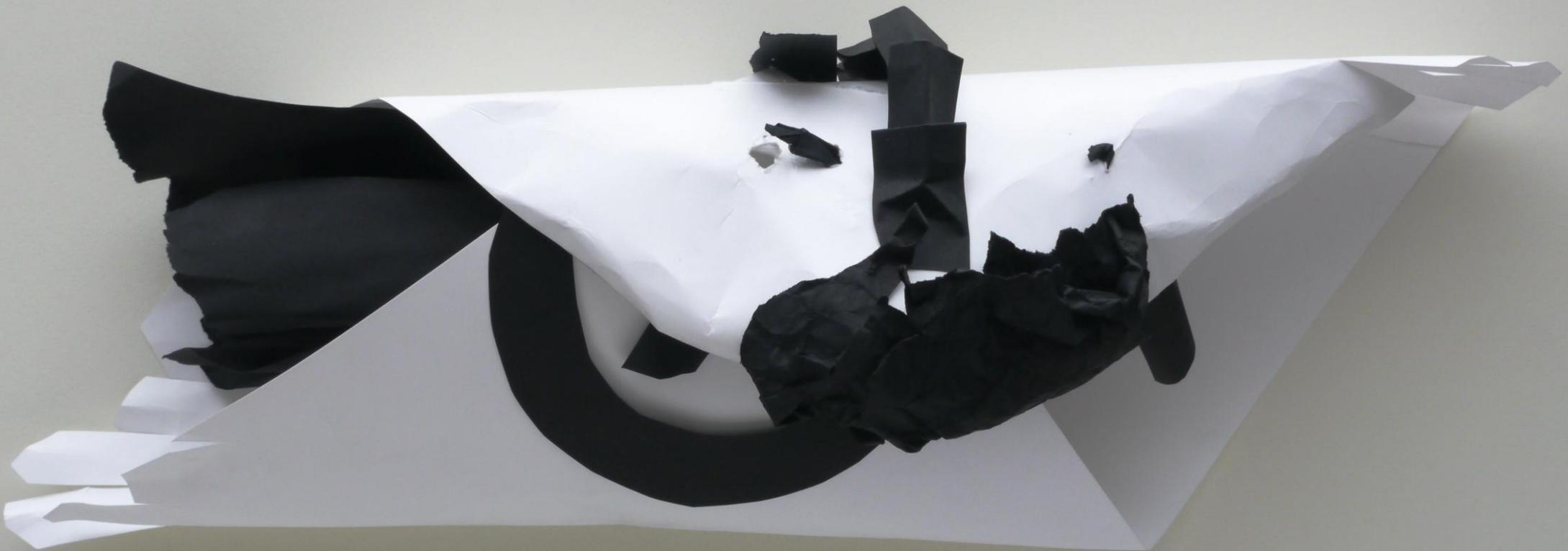
アバターみたいな自分を想像しました。

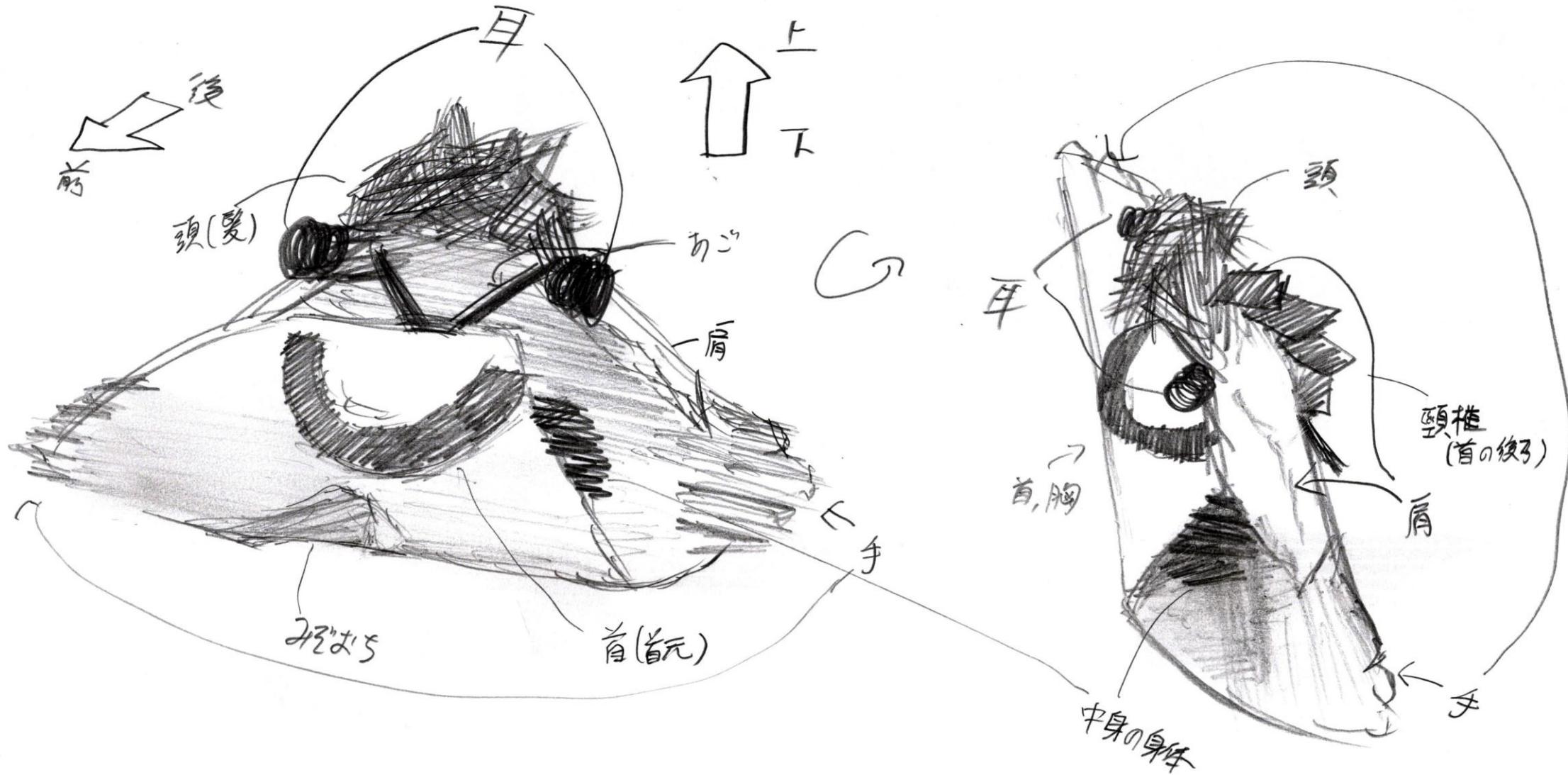
顔のパーツで印象に残りやすそうなものを

ピックアップしました。

角度の調節が難しく、逆に全体でみた時の形を
とらえるのは思つよりも簡単に感じました。

触覚イメージ





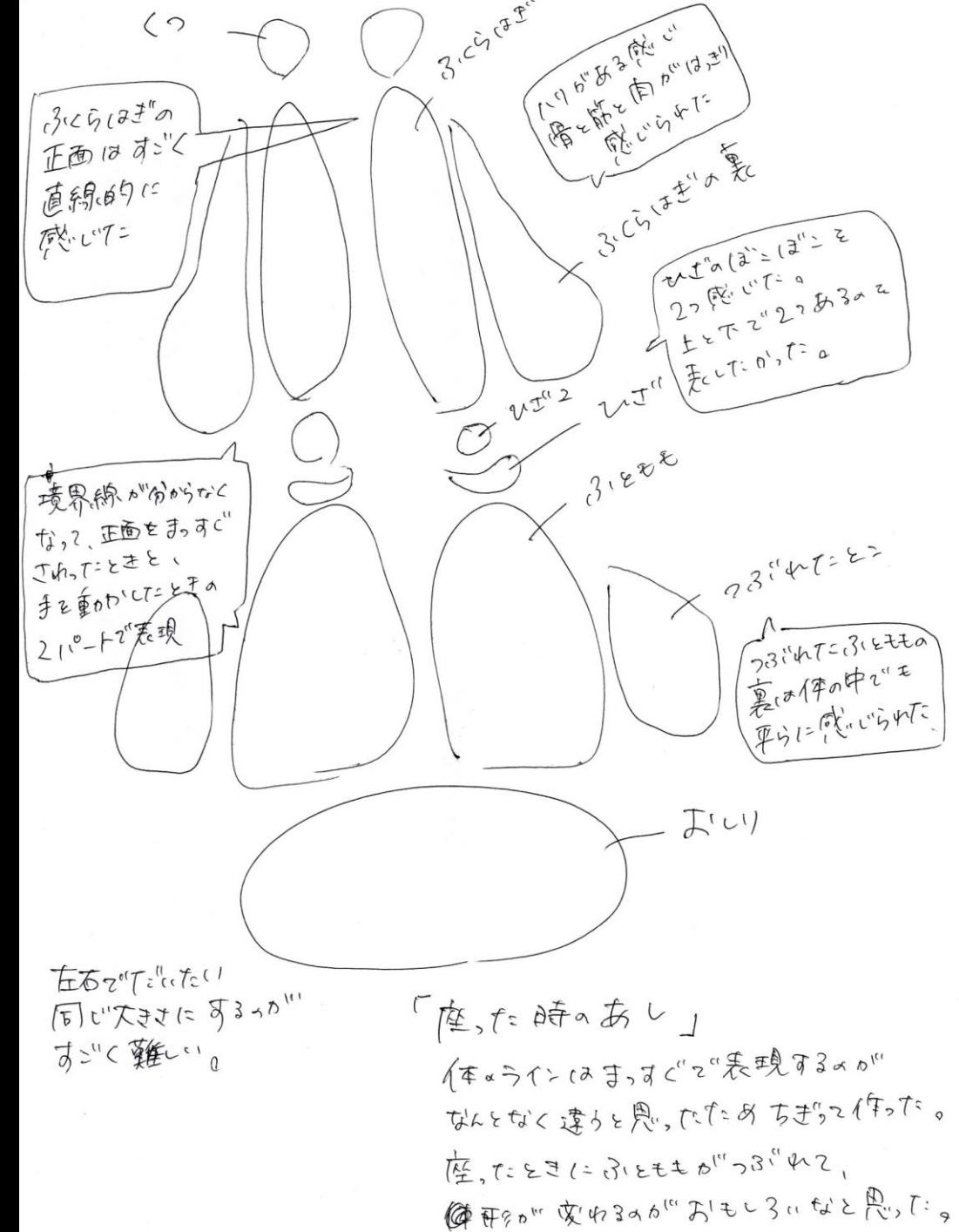
触覚的イメージで、折りたたみ式を作成した。





042

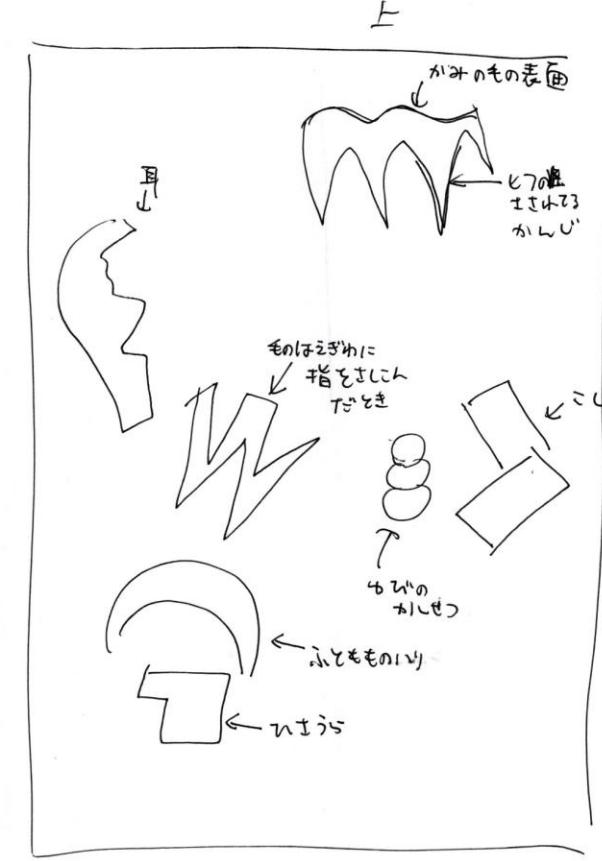
座ったときにふとももがつぶれて、形が
変わるのがおもしろいなと思った





030

毛のはえぎわに指をさしこんだとき



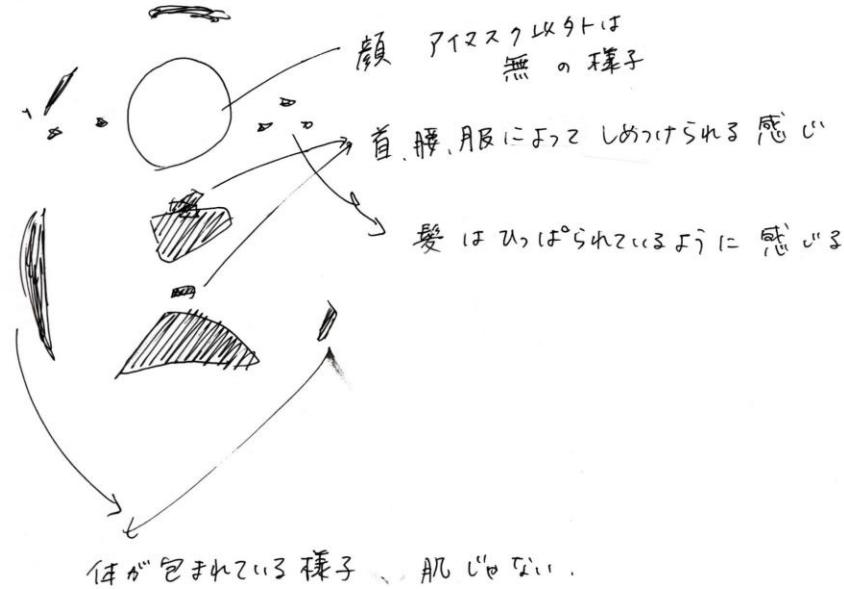
下

位置関係が全然わからなくて難しかったです。
ま、すぐわかる、直角にわかる、という事が困難でしたから、
と中かい指の側面に沿って手は「みたい」とに気が
つきました。指の形をみてわかるのがかなり役に
立ちました。見てみたら、今まで見たことある気が
かりたりかりしたりました。



053

視覚をかくした時に、肌にふれる服の感覚に
強く意識がむいた。
顔の下半分は「かくされていないこと」何もふれていないことを
あまり意識はつかなかった。
首や腰あたりの服によつて体がつかまれていることを感じた。



手でいろいろな部位を触り、肌と肌以外をより感じた。

肌にふれる服の感覚に強く意識がむいた
何も触れていない部分は意識が向かない

構造

自分と自分をとりまくものの構造

正方形・キューブ

円環構造・多層構造

白と黒

自分と自分をとりまくものの構造



005

作品解説



入れ子の感情

外枠がコロコロ変わるので、
外枠の感情が剥がれて
次、感情、と、次、感情
変わ、70×8=3。
白地(黒地)→黒地(白地)
を貼るかに人と被る食べて、
立体物を作り感じも自分はいへ



008

自分がやりたいことがたくさんあって手をのばそうとする自我を、
やりたくないがやらなくてはいけないことにうもれていく…

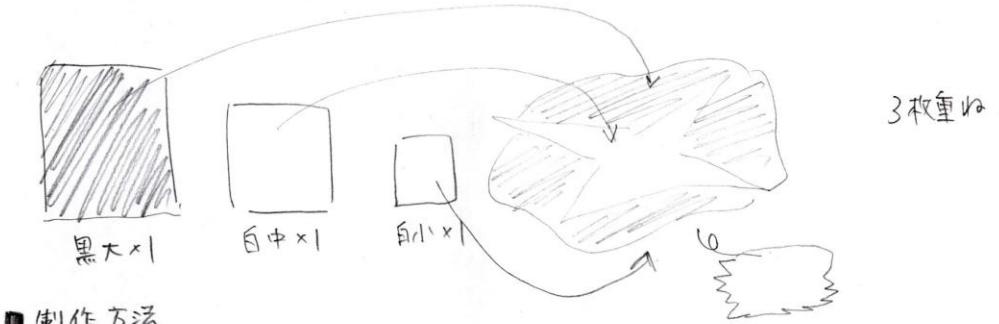
題名「卒業と就活に追われる限界大学生」

・切ったり やぶいたりしてつまつ達う出来事を表した。
・白い部分が、自分がやりたこと、好きなこと。
・黒い部分がやらなくてはいけないこと「卒業や就活など」
自分がやりたことがたくさんあって手をのばさうとする自我を
やりたくないがやらなくてはいけないことをうもれていく。引きずり
こまれるような、そんな感じの作品にしたかった。



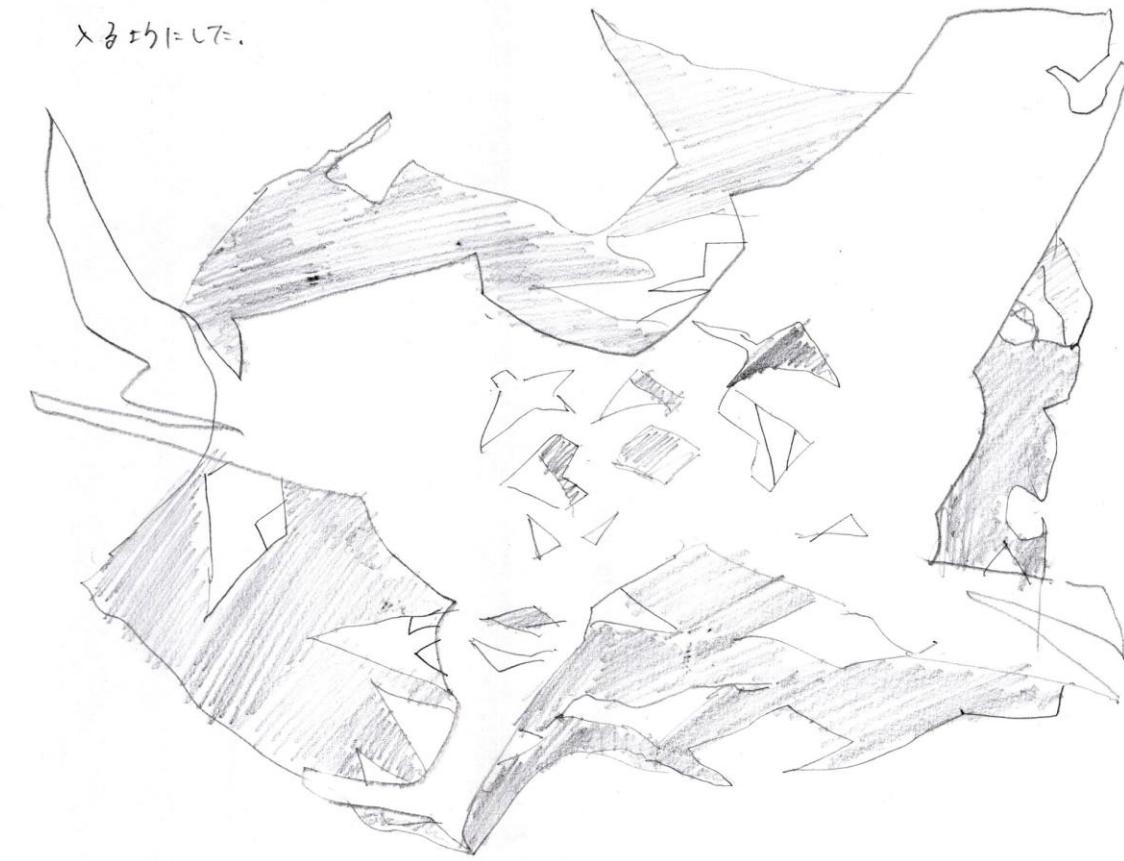


035



■制作方法

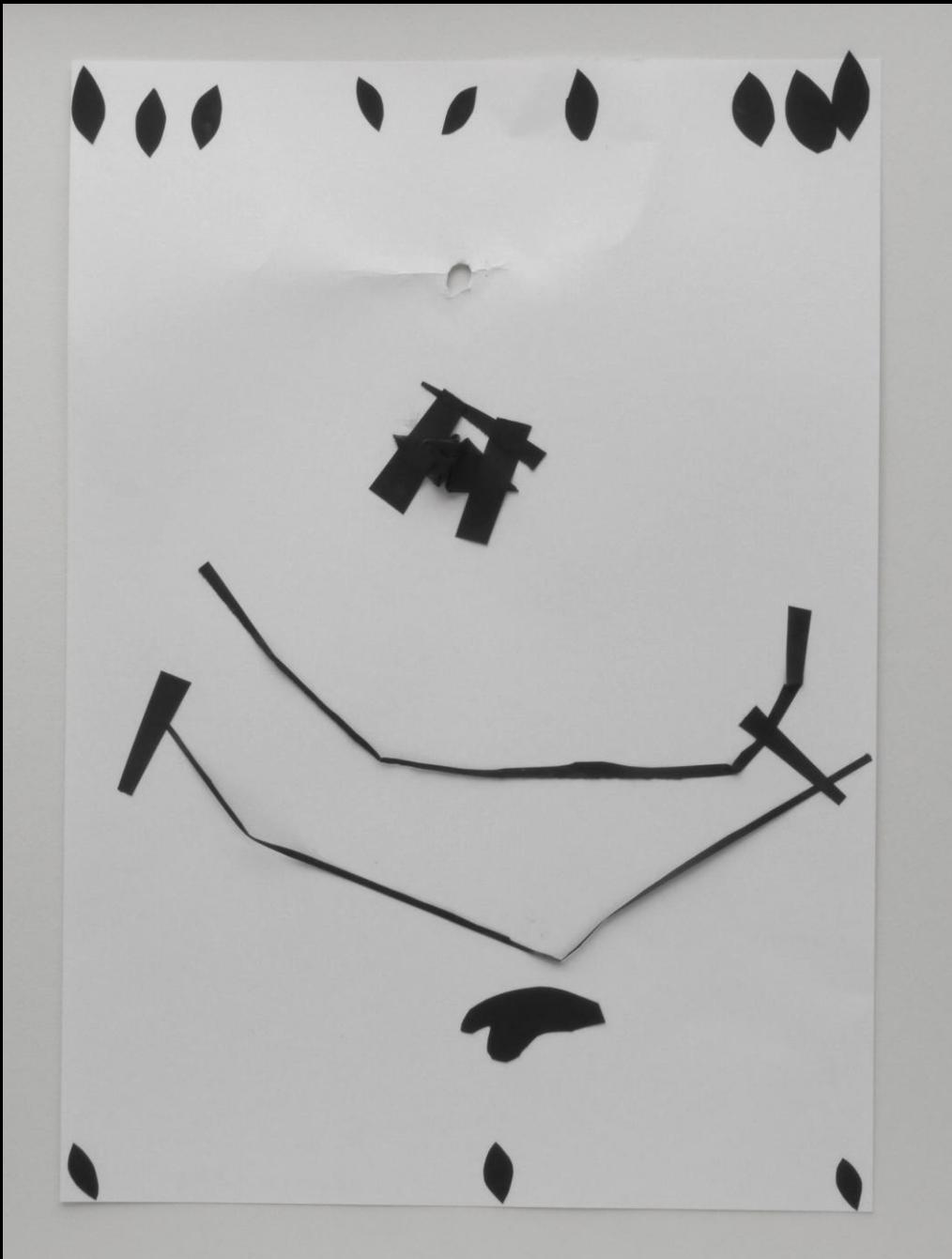
大中小の紙を真ん中を沢めて、色々な折りたたみ方をしてから、
切り込みといふアリ、切り離していき、様々な意図(つい模様が
入るカ所)にして。



3層が重なり合うことで、新しい形が見えてくる。



3層が重なり合うことで、新たな形が見えてくる



040



基準から計画された技法集

正方形・キューブ



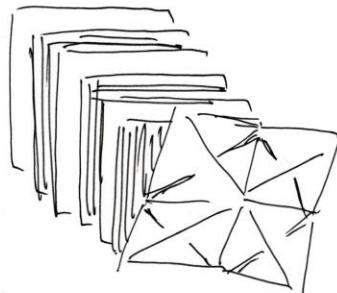
050

規律に縛られる

（バラバラのはずのものなのに
すべて正方形で整えられ

逸脱しようとしても新しい場所で
新しい何かに縛られている

生きている限り常に何かの中で生きる
しかない。



規律に縛られる

バラバラのはずのものなのに

すべて正方形で整えられ

逸脱しようとしても新しい場所で

新しい何かに縛られている

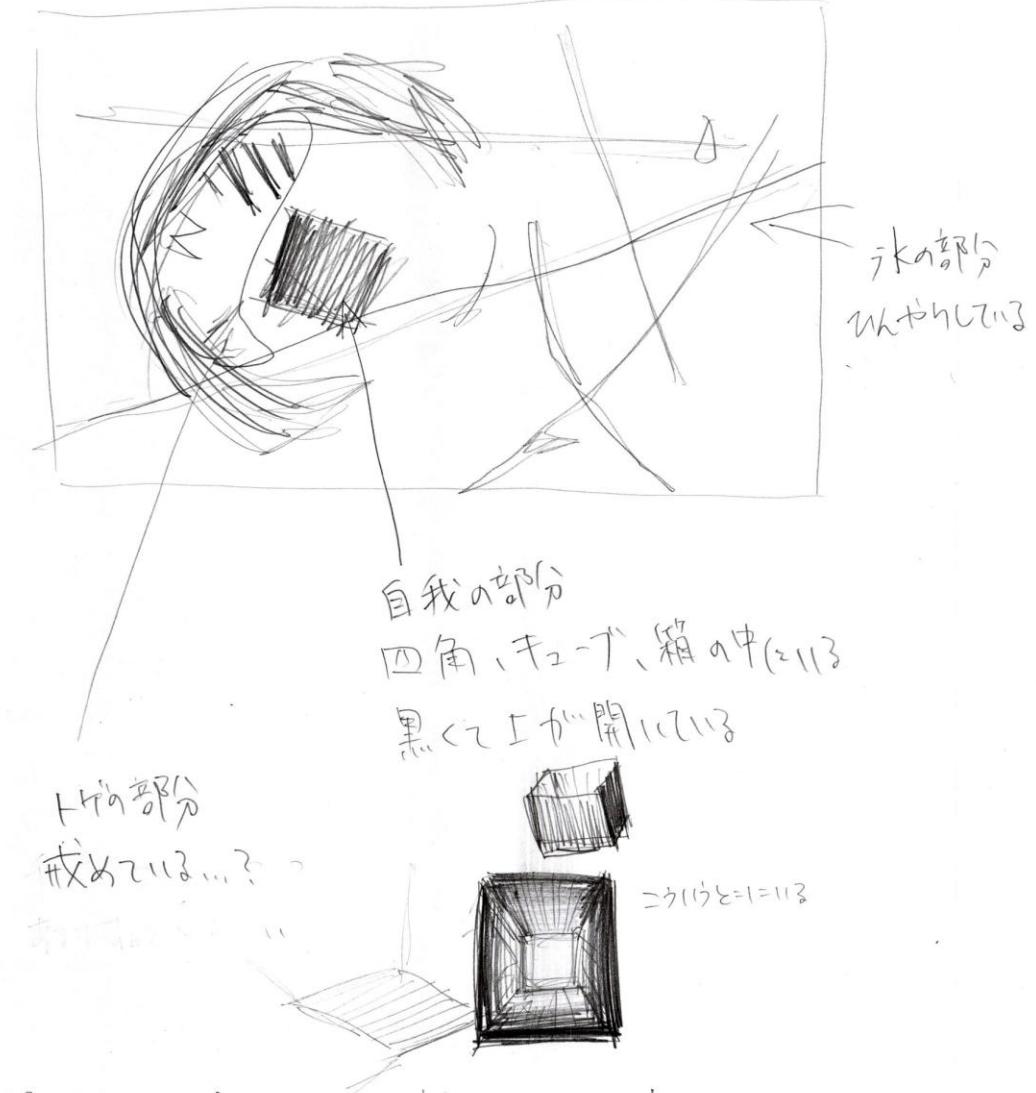
生きている限り常に何かの中で生きる
しかない





026

肉体の中の黒い四方体の中に自我である私がいる



無重力、浮遊平面空間の中の四方体に軟禁された。
心靈的な体験をいかゞもーぐ、四方体という存在が自我と
見受けられるようになつた。

肉体の中の黒い四方体の中に自我である私がいる。

円環構造・多層構造



011



始めは □ で円を作ろうと思、だが 想定より 紙が足りなか、ため、取手をつけた。
触感を楽しくさせたかったので 白の上に黒を重ねた。
完結したものを作ろうとしている気がする。



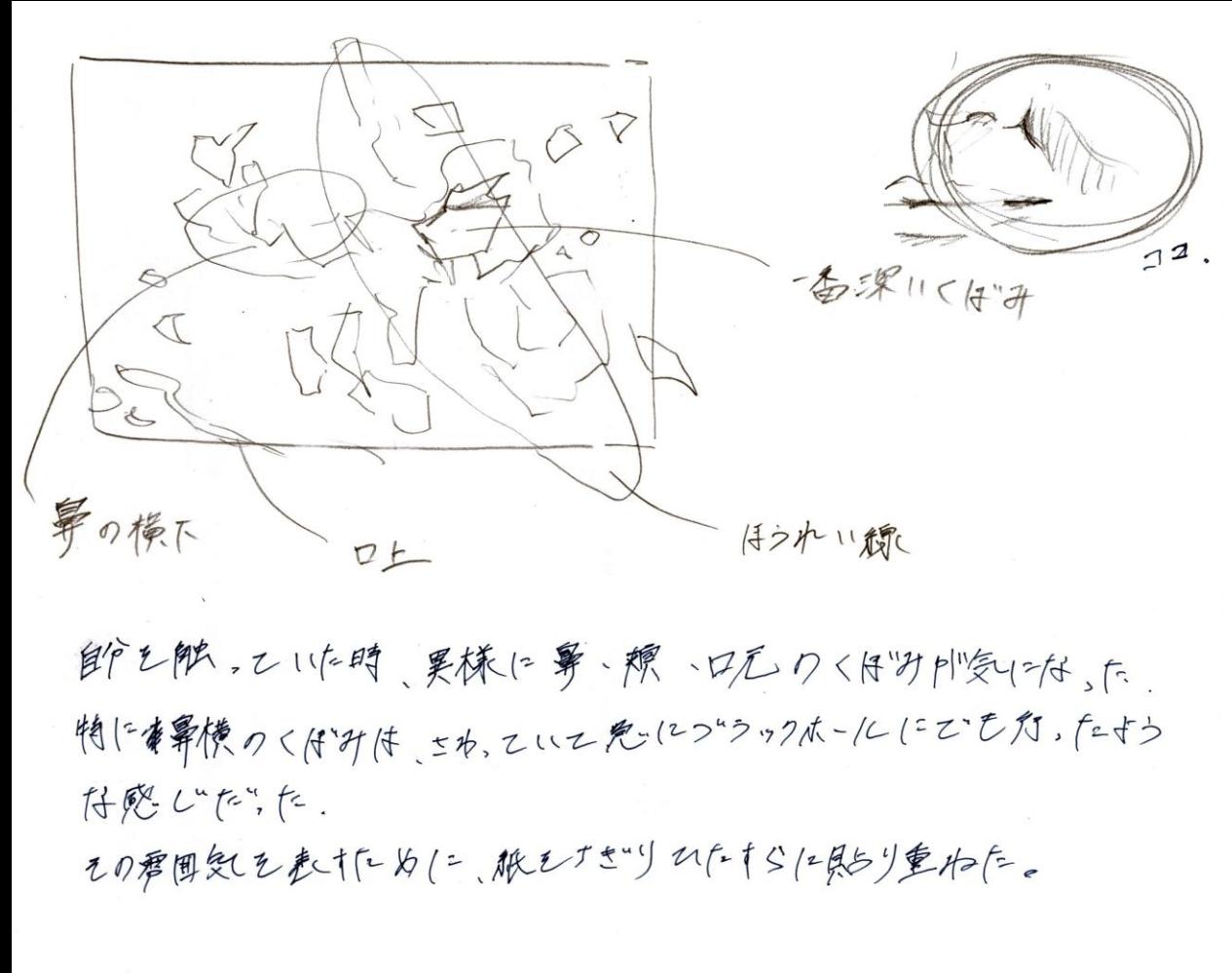
完結したもの





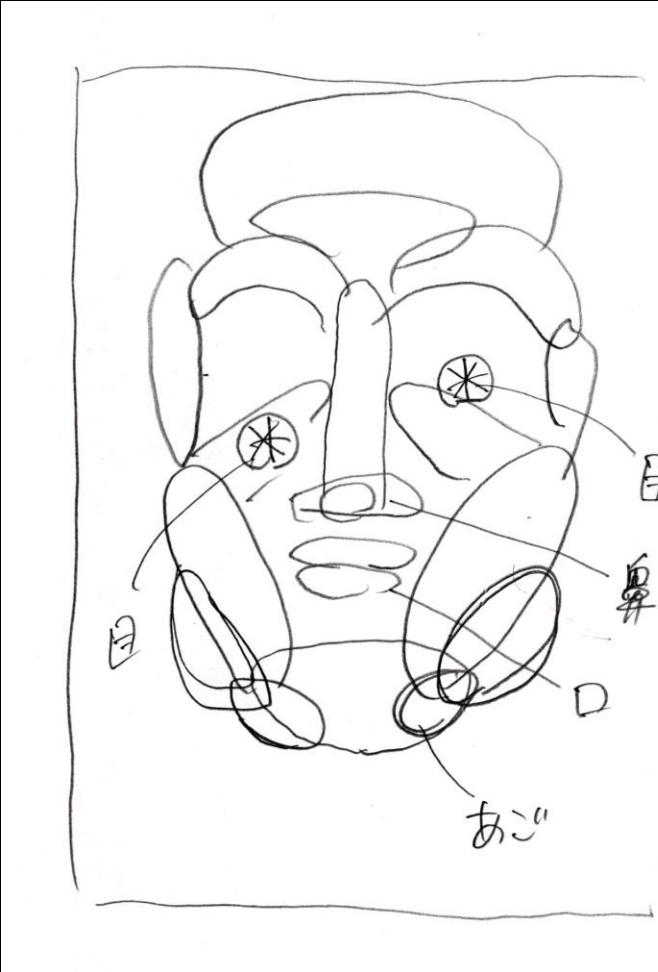
027

特に鼻横のくぼみは、さわっていて急にブラックホールにでもなったような感じだった
その雰囲気を表すために、紙をナザリひたすらに貼り重ねた





031



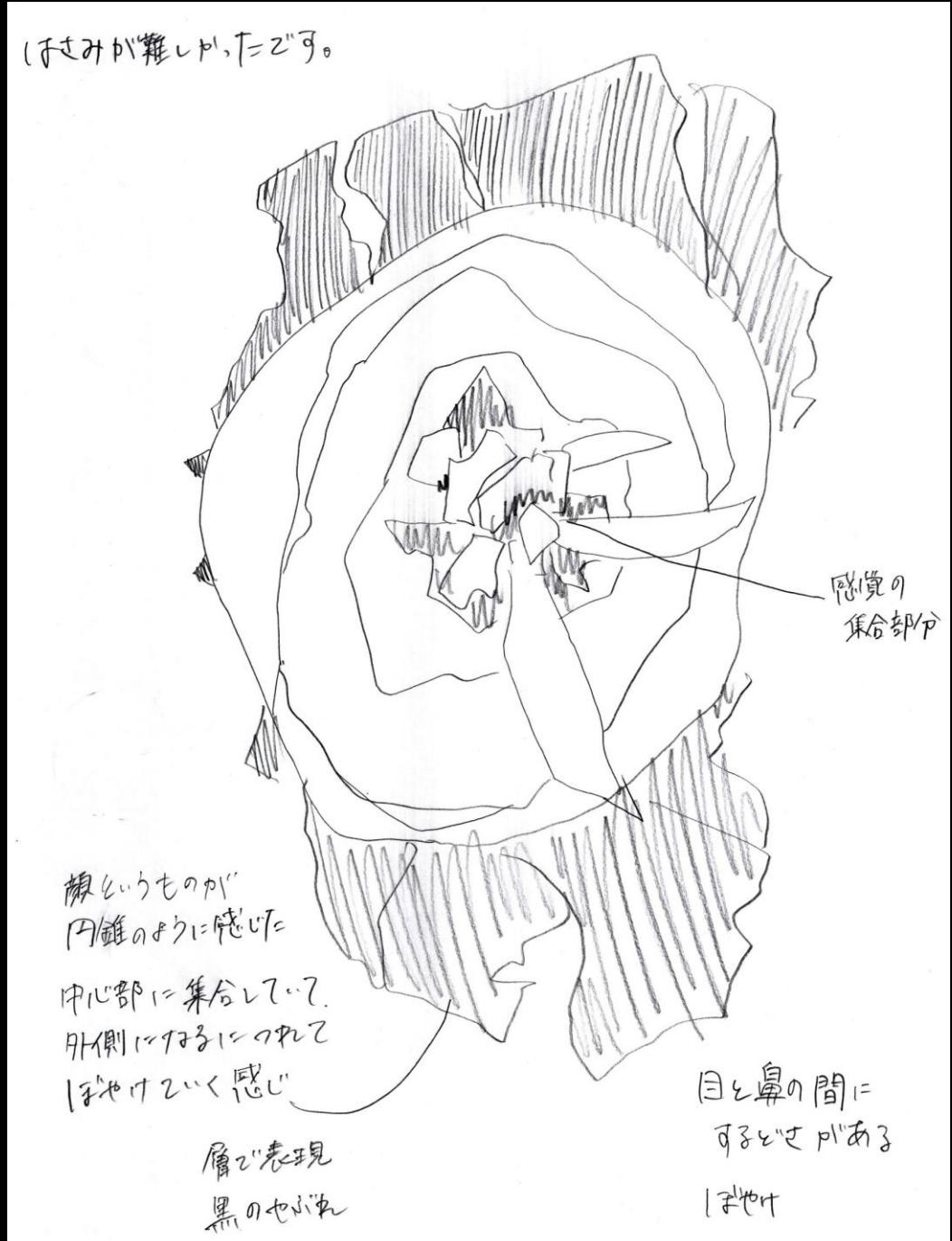
課題とやらしてしまったかも。
すんごく真面目に
自分の顔をそのままかきました。
あごのまろみをさりげなくするために
白板もかさねて、
鼻で「中心」をがつこが
強めます
友人から自分が「ヨシノボル」と
いわれてから以来。
左右差を増して左目を強化した
思ったよりアゲリしてました。



目がフジツボ



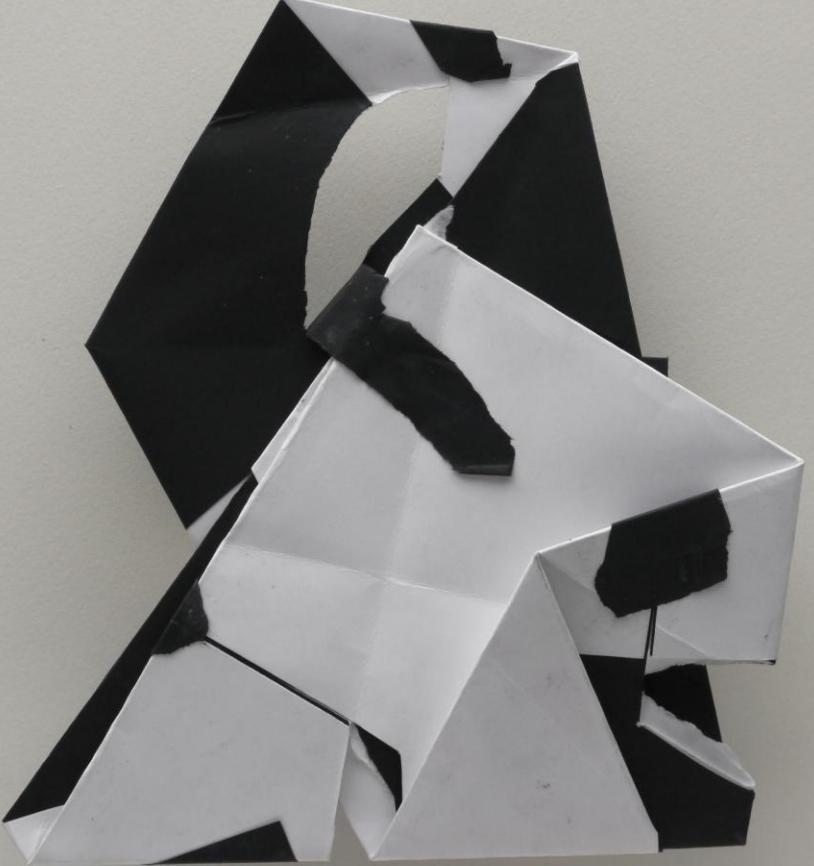
048



顔というものが円錐のように
感じた
中心部に集合していく、外側
になるにつれてぼやけていく
感じ



白と黒



034



◎タイトル
「自分の表裏」(引物: 紙袋)
◎コアコン
白と黒の紙をもらつてとき
“表と裏”を表現すべし、とすぐ思ひました。
まず2枚を貼り合わせ、1枚の角にし、切(は)く)破(は)れ(れ)
(表(あ)裏(う))
お互いが侵食(せきしゆ)する様子(ようす)を表現(げんひ)しました。
更にそれを折(は)る(る)時
折るとして、平面ではなく立体感(りたいかん)をださないしました。

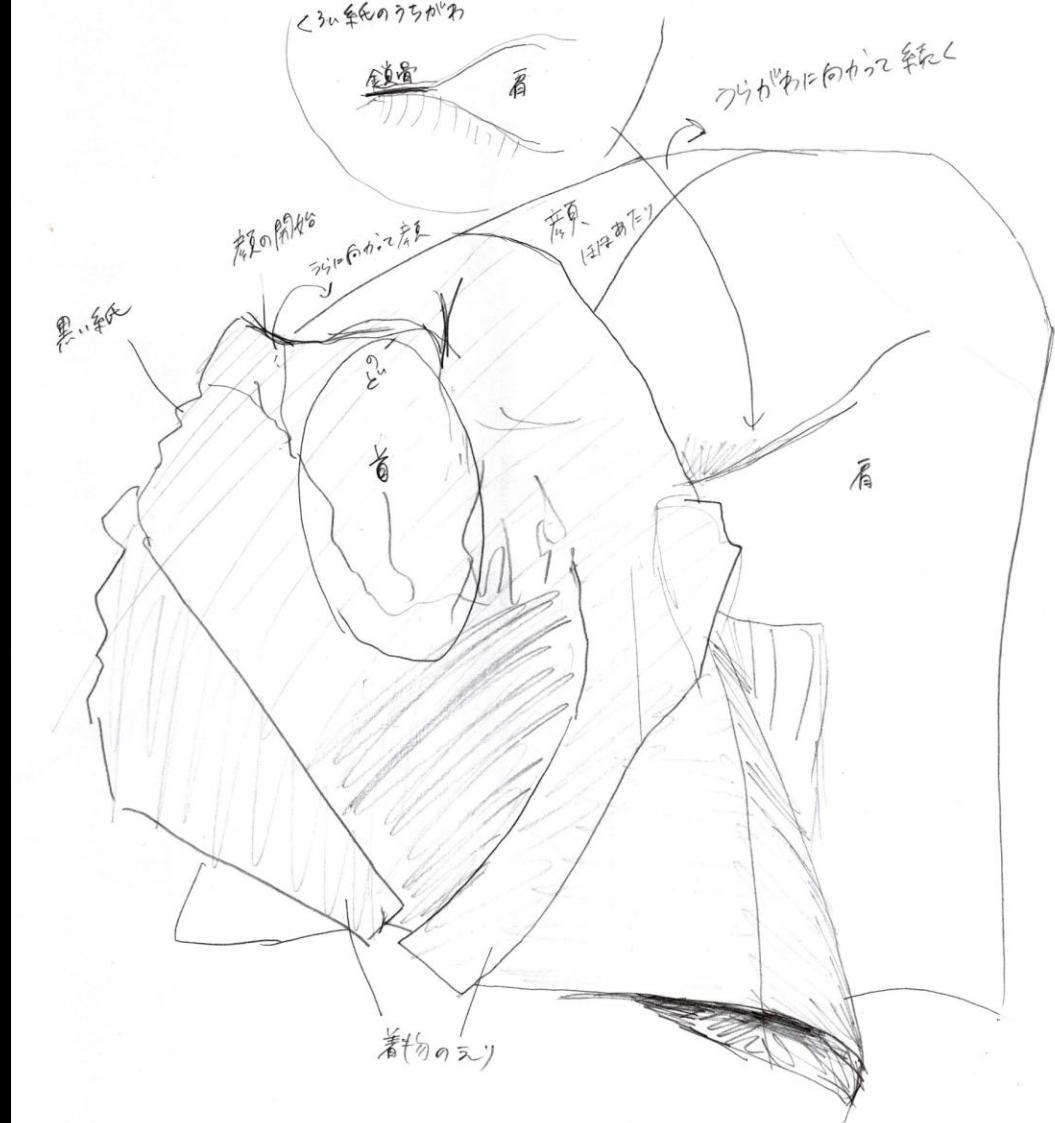
◎感想
率直に言うと、メーラー通りではなかったです。
むしろ表から裏(う)へと侵食(せきしゆ)する様子(ようす)で、
破れた質感(しつかん)で表現(げんひ)できればおかってです。
作品で見た友人たちは取り手がある、紙袋(きたい)
(めわに見えるもの)
とおもいました。私がも~~うなづ~~うなづいていたと想(そう)ひます。

自分の浸食しあう表裏 白と黒

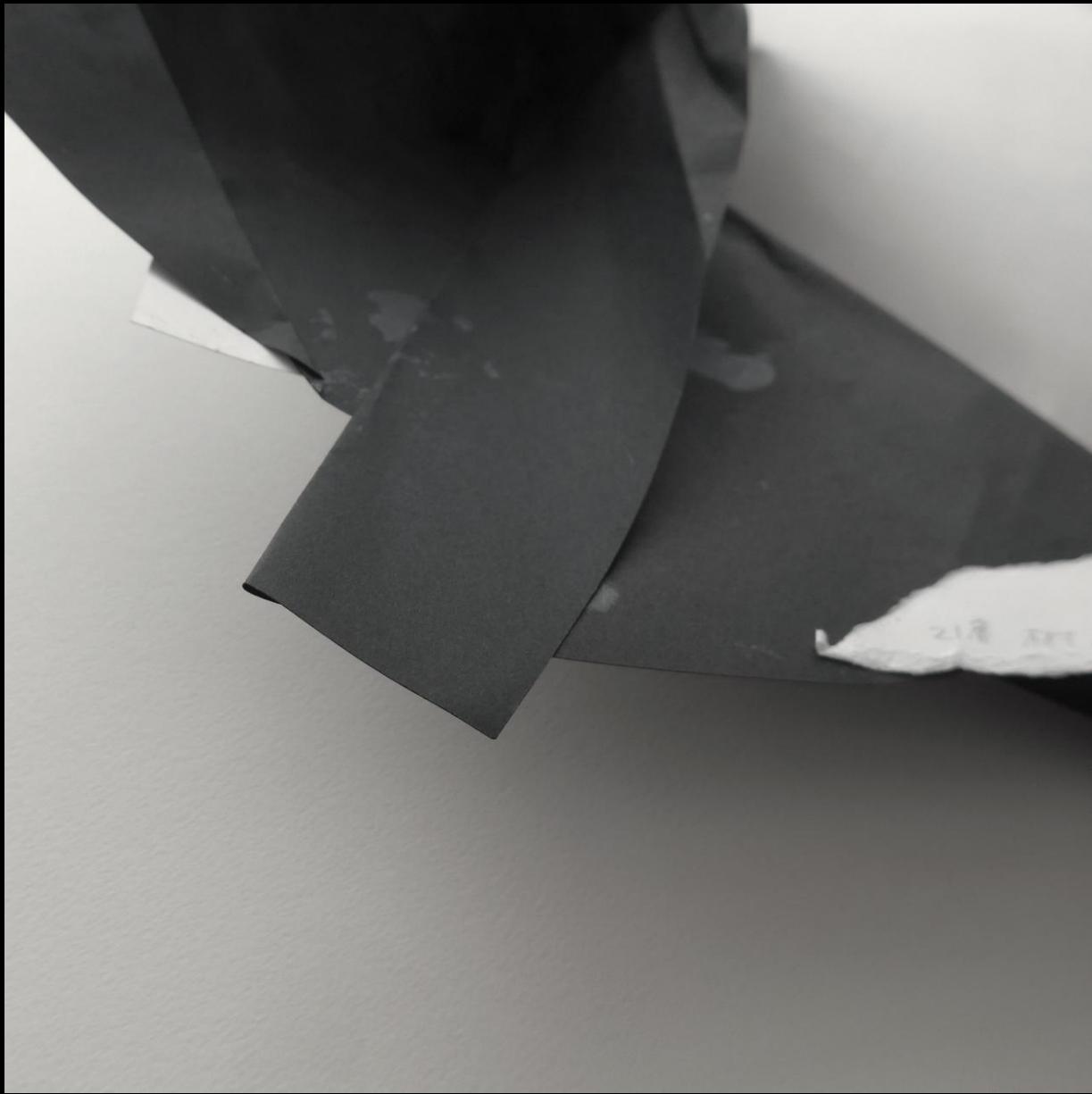




013



黒い紙は外から自分が触った感覚。白い紙はからだの中、骨肉をうさがして時に感じた感覚。自分で手と頭が手と頭に触る時、手で頭を頭がうらがわで「うらがわ」ではどうも気がかけない。見えづら状態でと紙を大きめ感じた。黒い紙と白い紙のうらがわは手で触るとあらわに曲手算がでてくのむかで3か所。



黒い紙は外から自分が触った感覚。白い紙はからだの中、骨、肉をうごかした時に感じた感覚
黒い紙と白い紙のうらがわに手をいれると、あらたに曲線がでてくる



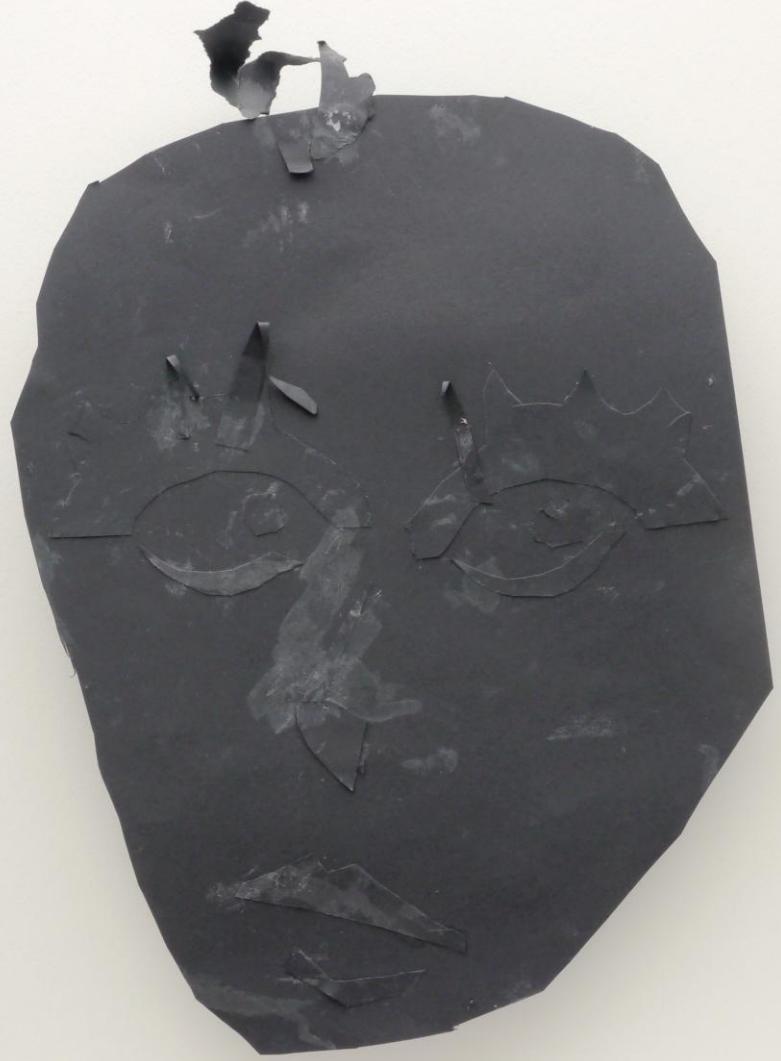
052

身体の中でも筋力の5分の1は太ももで、7分の3は
太ももの内側の筋肉で、筋肉の7分の1は太ももの外側、腰筋の7分の3
が太ももの内側の筋肉で、筋肉の7分の1は太ももの外側、腰筋の7分の3
が太ももの内側の筋肉で、筋肉の7分の1は太ももの外側、腰筋の7分の3





黒に黒
圧力を感じるところ



023



自分はよく人にまつげが長いと言われるので、
まつげの部分特に注意してから、つくりました。
白の紙の上に、黒で彫刻のハーフを作ろう
と考えていたのですが、白の紙かと思いついたのが
黒い紙で全て黒になってしまった。



白の紙だと思っていたのが黒い紙で
全て黒になってしまった

自我の消失点

剥がした痕跡

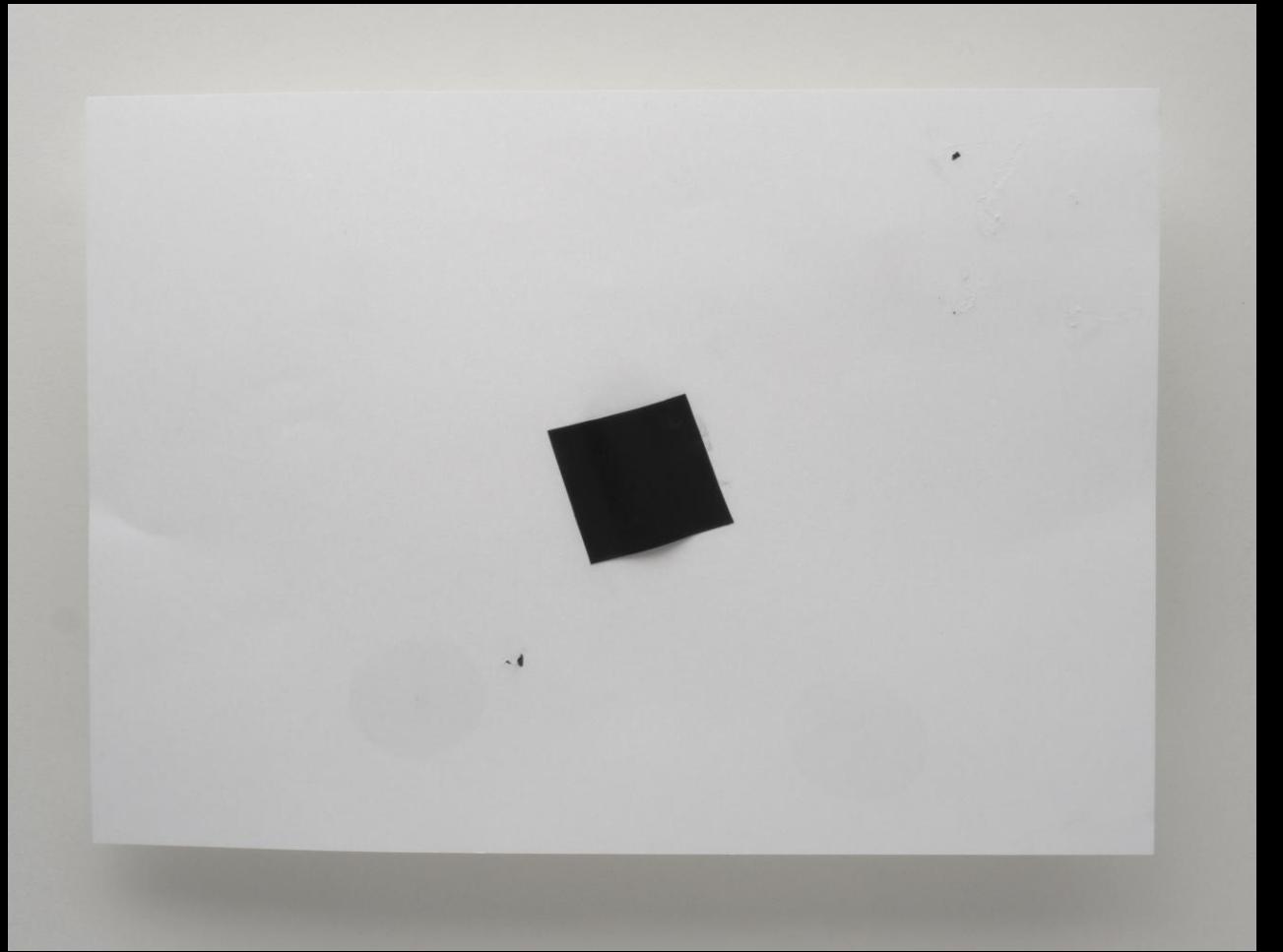
頭部は表現しない

ニキビ

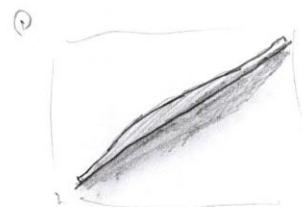
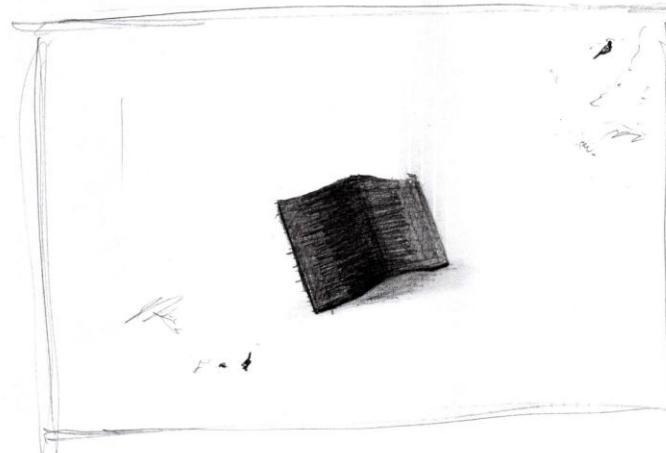
ビール

思考

本



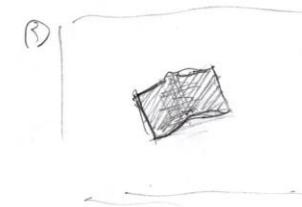
036



手15.
光壁
70/75%
高め
70/75%
差
常め
70/75%.



手1.、73%
70/75%
高め
70/75%
差
常め
70/75%.

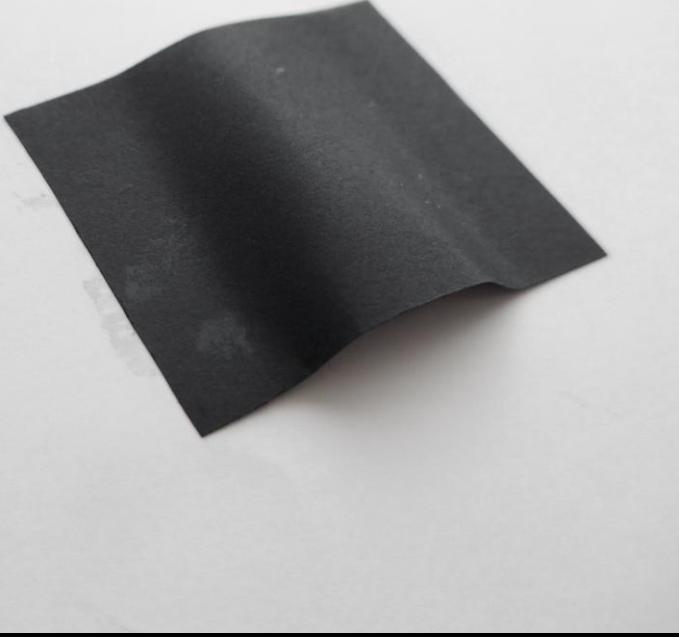


一枚、正面形状を出し。
缺欠空間5%
~~空口間12.12% = 36%~~
大・小
70/75%
持荷.

手15.
光壁
70/75%
高め
70/75%
差
常め
70/75%.

一回種
17%
△
この子前半.
今め.
“自画”像
70/75%.

(X)

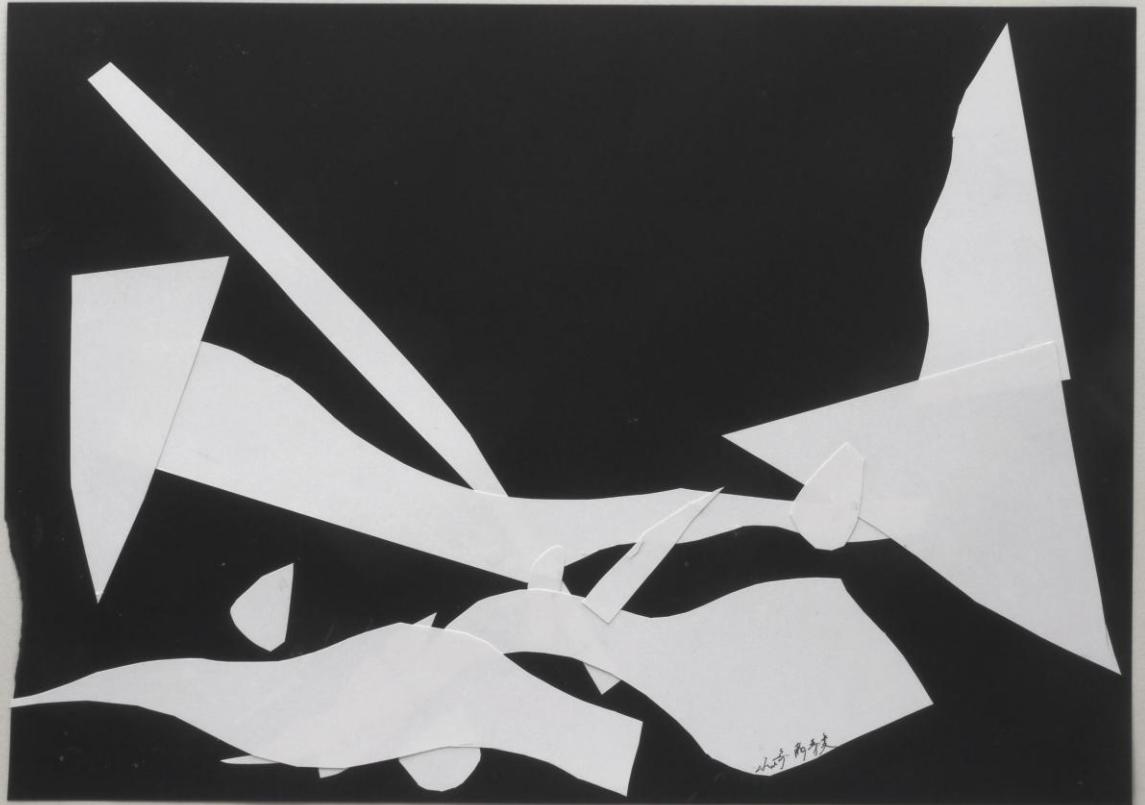


最初 斜めに紙を立てた
気に入らなくてはがした
跡がついてしまった

一枚、正方形を切り出し
中央に空間ができ
開いているところが大小となるように、、、

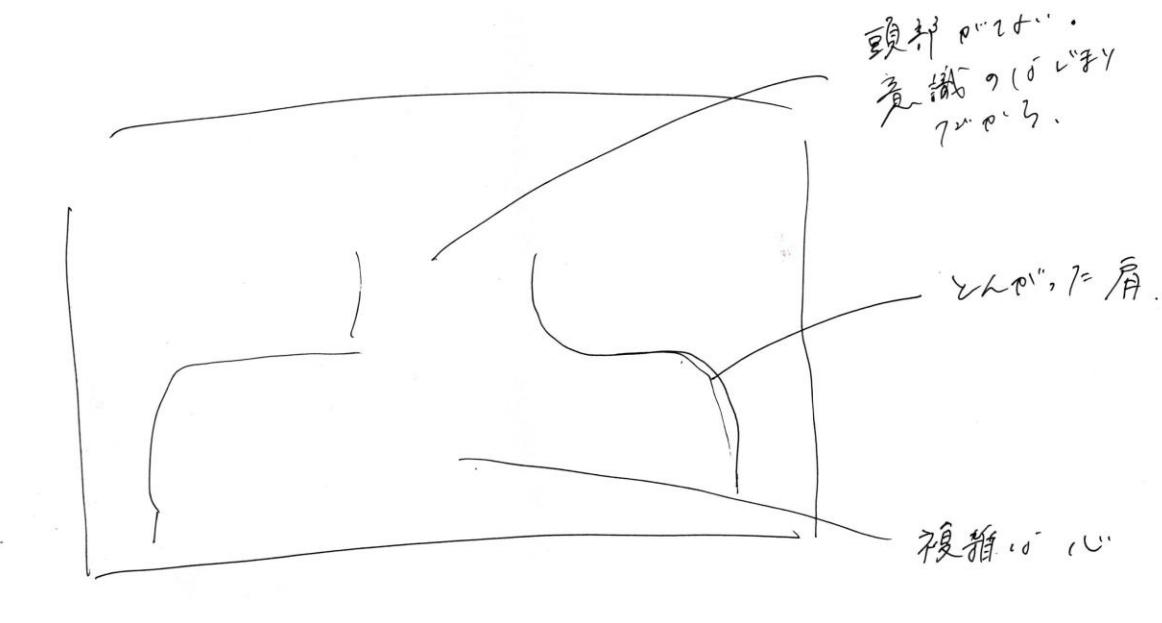
私はクオリティ高いものをつくりたいという意識が常にがあるので
一回はがした

この行為も含めて”自画”像である



044

胸から頭までの自分の距離感がアリ。胸から頭までの
手を握る手。肩がこじんまりして。その中にいろ人間
細かい構造要素が散らばっている。頸椎から上
手すりが。頭部への意識が強すぎたことを逆に、表現をしていない。
遂に、表現をしてないんで、表現していない。

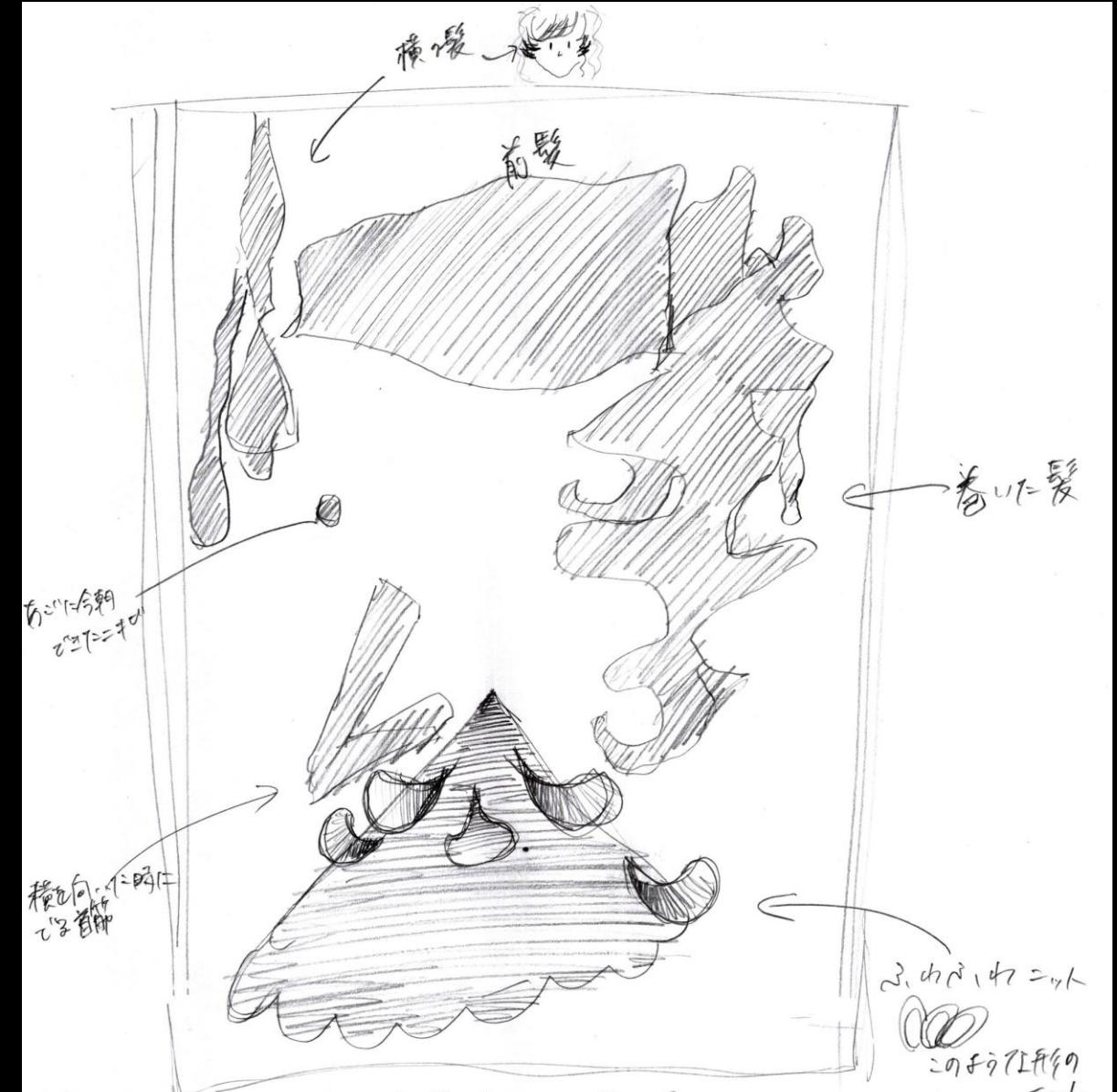


首から上の様子はなく、頭部への意識が強すぎたことを逆に、表現をしてないことで、表現しています



045

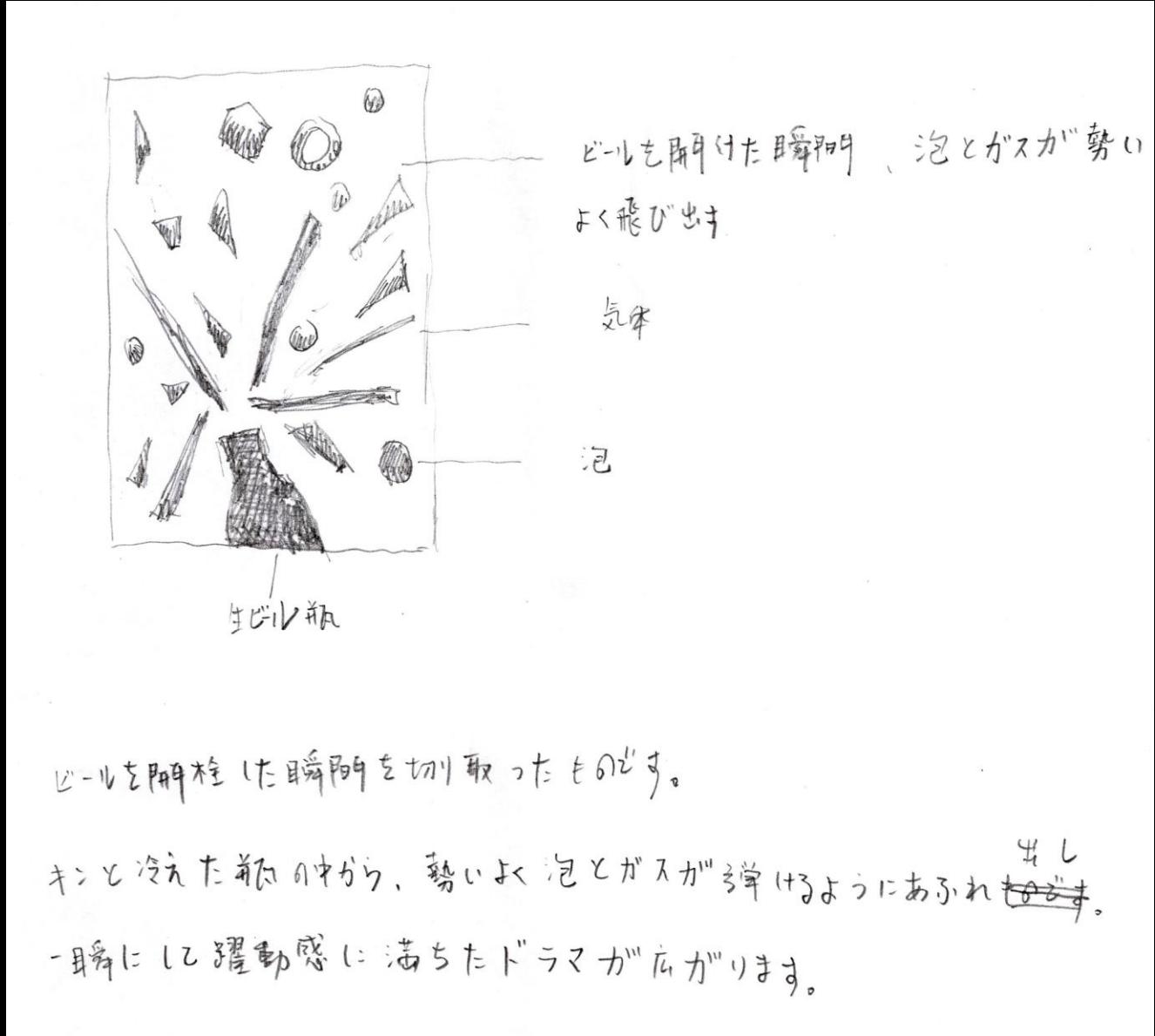
今朝できたニキビ 顔っぽくなってしまった



自分にさわった時に特徴的な所を黒くした。
自分のなかには上半身の一部を抽象化して「や」「や」「や」もいた違う形で
顔っぽくなってしまった。

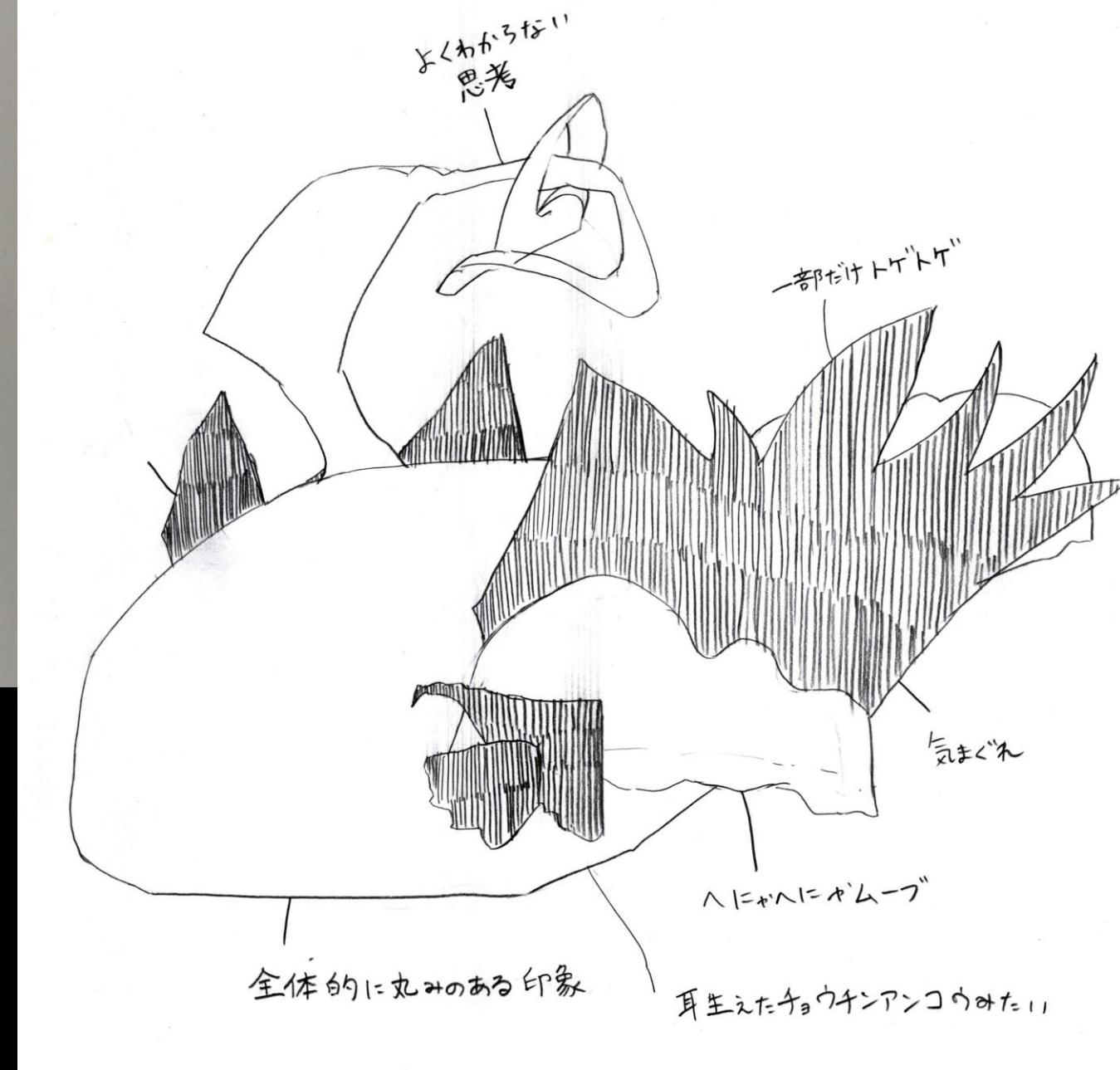


018

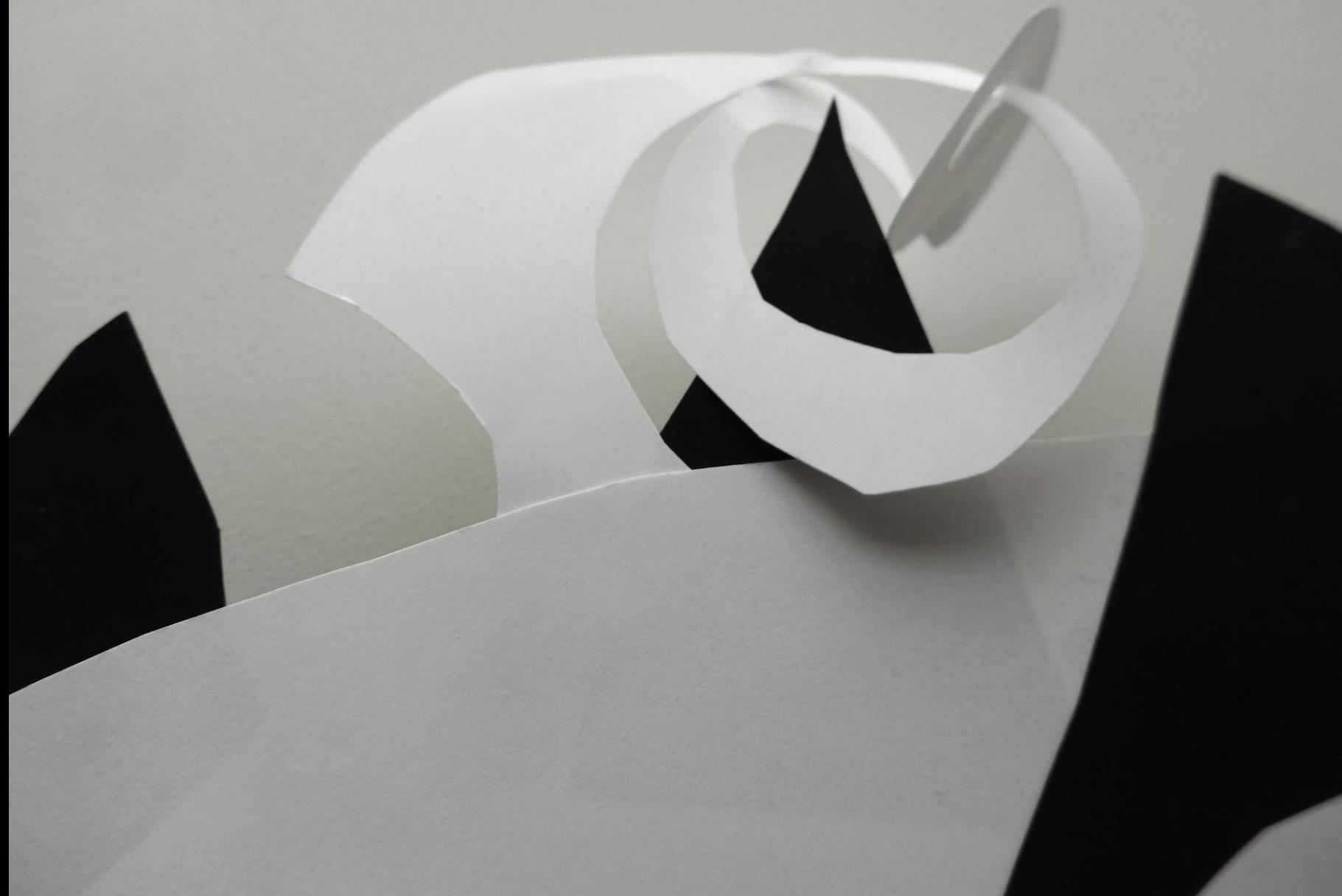


055

よくわからない思考

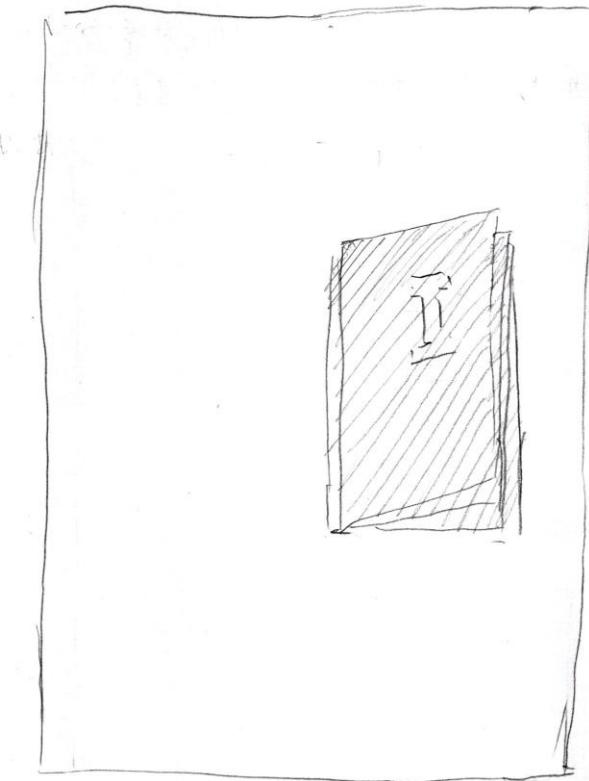


耳生えたチョウチンア
ンコウみたい





033



自分を定義するのは
苦手なので、
自分をどう定義してほしいか?という
自己紹介することにして、
1枚の絵だけで私のことわからぬ気にならないでよお」と
いう李卓耀が「本をくらう」と言ってきたので
つくった。

最終ページは白の紙。

自分を定義するのは苦手なので、
自分をどう定義してほしいか?
という自己紹介をすることにした。
1枚の絵だけで私のことわかった気にならないでよね
という変なプライドが「本をつくろう」と言ってきたので
つくった
最終ページは白の紙